

第26回 歯科衛生士 国家試験問題 解答

Table with columns for question number, answer, subject, and score. It is divided into '午前問題' (Morning Questions) and '午後問題' (Afternoon Questions) sections.

午前問題 49番 採点対象から除外する。問題としては正しいが、国家試験問題としては不適切であるため。

午後問題 51番 採点対象から除外する。選択肢が不適切であるため、採点対象から除外する。

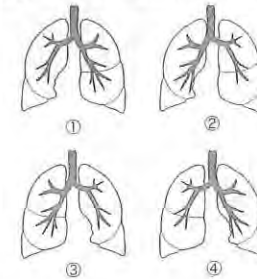
- ※出題基準 1 人体(歯・口腔を除く。)の構造と機能 2 歯・口腔の構造と機能 3 疾病の成り立ち及び回復過程の促進 4 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 5 歯科衛生士概論 6 臨床歯科医学 7 歯科予防処置論 8 歯科保健指導論 9 歯科診療補助論

解説 (午前問題)

(問題 1) 成人の気管、気管支および肺を正面から見た位置関係を図に示す。

正しいのはどれか。

- a ① b ② c ③ d ④



選択肢考察

× a、× b、○ c、× d

右肺は上葉、中葉、下葉に区分され、左肺は上葉と下葉とに区分される。右気管支は左気管支より太い。そのようになっているのは③である。

答え c

(問題 2) 頭蓋骨の正中矢状断面の写真(別冊午前 No.1)を別に示す。

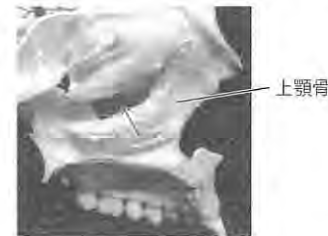
矢印が示すのはどれか。

- a 上顎洞 b 前頭洞 c 篩骨洞 d 蝶形骨洞

別冊 午前 No.1

選択肢考察

答え a



- a 上顎洞は上顎骨に存在する。矢印は上顎洞である。 × b 前頭洞は前頭骨に存在する。 × c 篩骨洞は篩骨に存在する。 × d 蝶形骨洞は蝶形骨に存在する。

(問題 3) 固有口腔にある小唾液腺はどれか。

- a 頬腺 b 舌下腺 c 口蓋腺 d 口唇腺

選択肢考察

- × a 頬腺は口腔前庭にある小唾液腺である。 × b 舌下腺は固有口腔にある大唾液腺である。 ○ c 口蓋腺は固有口腔にある小唾液腺である。 × d 口唇腺は口腔前庭にある小唾液腺である。

答え c

(問題 4) 上顎前歯の舌側面を図に示す。矢印で示すのはどれか。

- a 白歯結節 b 基底結節 c 介在結節 d カラベリー結節



選択肢考察

- × a 白歯結節は上下顎乳白歯頰面の近心歯頸部付近にみられる結節である。 ○ b 基底結節は前歯の舌面歯頸隆線の発育が明瞭な結節である。 × c 介在結節は上顎第一小臼歯の近心辺縁隆線にみられる結節である。 × d カラベリー結節は上顎第一大臼歯の近心舌側咬頭の舌側面近心部にみられる結節である。

答え b

(問題 5) 電子伝達系が存在するのはどれか。

- a 細胞膜 b 核小体 c ゴルジ装置 d ミトコンドリア

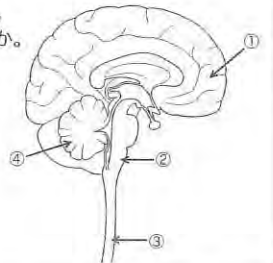
選択肢考察

- × a 細胞膜は外部と境界をつくるリン脂質二重層の膜で、表面には糖衣とよばれる糖がついている。 × b 核小体(仁)はリボソーム RNA をつくる。 × c ゴルジ装置は粗面小胞体で合成されたタンパク質を濃縮、加工し、糖タンパク質として完成する。 ○ d ミトコンドリアにはクエン酸回路と電子伝達系が存在し、生体エネルギー源である ATP (アデノシン三リン酸) を産生している。

答え d

(問題 6) 中枢神経を図に示す。呼吸中枢が存在するのはどれか。

- a ① b ② c ③ d ④



選択肢考察

- × a ①は大脳皮質である。 ○ b ②は延髄である。呼吸中枢、嘔下中枢などが存在する。 × c ③は脊髄である。 × d ④は小脳である。

答え b

(問題 7) 消化器系を図に示す。

矢印で示す臓器から出る液体の役割はどれか。

- a 脂肪の乳化
- b 腸粘膜の保護
- c 炭水化物の分解
- d タンパク質の分解



答え a

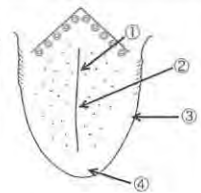
選択肢考察

- a 矢印で示す臓器 (=胆嚢) から出る液体は胆汁である。胆汁中の胆汁酸は、脂肪を乳化し脂肪の消化吸収を助ける。
- × b 大腸からはアルカリ性の大腸液が分泌されているが、消化酵素はほとんど含まず、粘液によって腸粘膜の保護を行っている。
- × c 唾液および涙液に含まれるアミラーゼは炭水化物を分解する消化酵素である。
- × d 胃液に含まれるペプシン、涙液に含まれるトリプシンはタンパク質を分解する消化酵素である。

(問題 8) 舌を図に示す。

二点弁別閾が最も小さいのはどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



答え d

選択肢考察

- × a、× b、× c、○ d 二点弁別閾が最も小さい (=敏感である) のは④の舌尖である。

(問題 9) エイズの発症機序に関与するのはどれか。

- a 自己抗体の産生
- b IgE 抗体の産生
- c 補体依存性細胞傷害
- d ヘルパー T 細胞の減少

答え d

選択肢考察

- × a 自己抗体が産生されて抗原抗体反応が生じ、傷害をきたすのは自己免疫疾患である。
- × b IgE 抗体の産生に関与するのは I 型アレルギーである。
- × c 補体依存性細胞傷害に関与するのは II 型アレルギーである。
- d エイズウイルスである HIV は CD4 陽性 T 細胞に感染し、ヘルパー T 細胞は減少する。

(問題 10) 歯根肉芽腫の엑스線写真 (別冊午前 No.2) を別に示す。

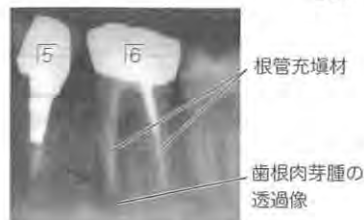
矢印が示す엑스線透過部で増殖する上皮の由来はどれか。

- a 歯肉外縁上皮
- b 付着 (接合) 上皮
- c 退縮エナメル上皮
- d Malassez の上皮遺残

別冊 午前 No.2

選択肢考察

答え d



- × a、× b、× c、○ d

歯根肉芽腫とは慢性膿瘍が器質化して根尖付近に形成された肉芽組織のことである。組織学的には、泡沫細胞、コレステリン結晶、マラッセ (Malassez) の上皮遺残がみられることもある。

(問題 11) 中枢リンパ組織 (一次リンパ組織) はどれか。

- a 脾臓
- b 胸腺
- c 扁桃腺
- d リンパ節

答え b

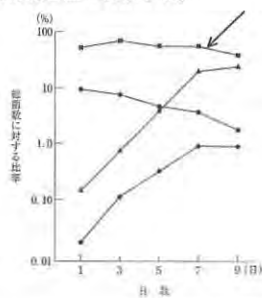
選択肢考察

- × a、× c、× d 脾臓、扁桃腺、リンパ節、リンパ管などは末梢リンパ組織 (二次リンパ組織) とよばれる。
- b 胸腺と骨髄は中枢リンパ組織 (一次リンパ組織) とよばれる。

(問題 12) 歯肉縁上プラークの形成過程における細菌の構成比の経日変化を図に示す。縦軸は対数目盛で表示する。

矢印が示すのはどれか。

- a Neisseria 属
- b Actinomyces 属
- c Streptococcus 属
- d Fusobacterium 属



答え c

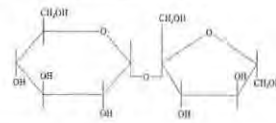
選択肢考察

- × a、× b、○ c、× d 矢印 (■) は Streptococcus 属、▲は Actinomyces 属、●は Neisseria 属、◆は Fusobacterium 属である。

(問題 13) う蝕発症に関わる糖の構造を図に示す。

この糖はどれか。

- a グルカン
- b グルコース
- c スクロース
- d フルクトース



答え c

選択肢考察

- × a グルカンはグルコースがグリコシド結合で繋がったポリマーである。
- × b、○ c、× d 図の構造式の左側が単糖類のグルコース (ブドウ糖) で、右側が単糖類のフルクトース (果糖) である。この単糖類と単糖類が結合したのが二糖類のスクロース (ショ糖) である。

(問題 14) 有害作用の発現率が最も高い投与方法はどれか。

- a 舌下投与
- b 経口投与
- c 筋肉内投与
- d 静脈内投与

答え d

選択肢考察

- × a 舌下投与では肝臓での初回通過効果の影響を受けずに体循環に入る。吸収も比較的速く、作用発現時間が短い。
- × b 経口投与とは内服のことで、主として小腸粘膜から吸収され、門脈を経由して肝臓での初回通過効果の影響を受けて体循環に入る。比較的安全性が高いため、最も一般的な投与方法である。
- × c 筋肉は血管が多いので筋肉内投与は吸収も速く疼痛も少ない。注射針による神経線維の損傷に注意を要する。
- d 静脈内投与では投与直後に最高血中濃度に達する。速効性があるので緊急時に有用であるが、ほかの投与方法と比較して有害作用の発現率が最も高い。

(問題 15) 口腔カンジダ症の治療に用いられる抗菌薬はどれか。

- a セフェム系
- b ペニシリン系
- c イミダゾール系
- d テトラサイクリン系

答え c

選択肢考察

- × a、× b セフェム系とペニシリン系はβ-ラクタム系抗菌薬で、細胞壁合成阻害作用を有する。
- c 口腔カンジダ症の治療に用いられる抗真菌薬はイミダゾール系のミコナゾールである。その他の抗真菌薬には、ポリエン系のアムホテリシン B やナイスタチンなどがある。
- × d テトラサイクリン系はタンパク質合成阻害作用を有する。

(問題 16) 第三次予防はどれか。2つ選べ。

- a 抜歯
- b 栄養指導
- c 義歯装着
- d 摂食嚥下訓練

答え c d

選択肢考察

- × a 抜歯は第二次予防の機能喪失阻止である。
- × b 栄養指導は第一次予防の健康増進である。
- c 義歯装着は第三次予防のリハビリテーションである。
- d 摂食嚥下訓練は第三次予防のリハビリテーションである。

(問題 17) 口腔清掃法とその関連事項の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 自然的 —— 咀嚼
- b 人工的 —— 洗口
- c 化学的 —— 唾液
- d 手術的 —— 食物の性状

答え a b

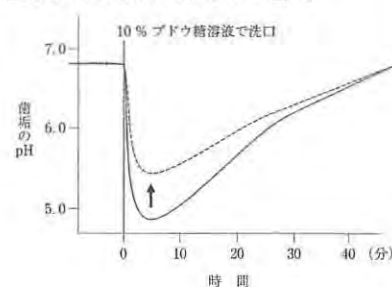
選択肢考察

- a 咀嚼は自然的口腔清掃法である。
- b 洗口は人工的口腔清掃法である。
- × c 唾液は自然的口腔清掃法である。化学的口腔清掃法は洗口液の使用などである。
- × d 食物の性状は自然的口腔清掃法である。手術的口腔清掃法は歯面研磨や歯石除去などである。

(問題 18) ステファン曲線を実線で図に示す。

矢印の方向に変化させるのはどれか。2つ選べ。

- a F<sup>-</sup>
- b Cl<sup>-</sup>
- c NO<sub>3</sub><sup>-</sup>
- d HCO<sub>3</sub><sup>-</sup>



答え a d

選択肢考察

- a F<sup>-</sup> (フッ化物イオン) が歯垢や唾液中に拡散することで、歯垢の pH は低下しにくくなる。
- × b、× c Cl<sup>-</sup> (塩化物イオン)、NO<sub>3</sub><sup>-</sup> (硝酸イオン) は歯垢の pH とは関連がない。
- d HCO<sub>3</sub><sup>-</sup> (重炭酸イオン) は唾液の緩衝作用にはたらくことで、歯垢の pH は低下しにくくなる。

(問題 19) 2000 年に FDI が提唱したう蝕の Minimal Intervention (MI) はどれか。2つ選べ。

- a 充填部位の予防拡大
- b 口腔内細菌叢の改善
- c 歯面の白斑の再石灰化処置
- d 支台装置が金属冠のブリッジ

答え b c

選択肢考察

- × a 充填部位の予防拡大は歯を切削しているため、Minimal Intervention ではない。
- b、○ c Minimal Intervention (MI) は歯の組織に対する外科的侵襲を最小限に抑えて治療するという概念で、患者教育、初期う蝕の再石灰化処置 (歯面の白斑の再石灰化処置)、欠陥のある修復物の補修修復、う窩形成のあるう蝕に対する必要最小限の切削処置、脱灰進行とう窩形成のリスク除去を目的としたう蝕原性菌の減少 (口腔内細菌叢の改善) が基本原則である。
- × d 支台装置が金属冠のブリッジは歯の切削量が多いため、Minimal Intervention ではない。

(問題 20) 成人の歯科健診結果を表に示す。

受診者	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
DT	1	0	2	1	0	0	2	0	4	2
MT	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
FT	4	0	5	3	4	0	6	0	8	6

この集団のう蝕有病者率 (%) はどれか。

- a 20
- b 30
- c 60
- d 70

答え d

選択肢考察

- × a、× b、× c、○ d 成人の歯科健診結果から B、F、H 以外の 7 名は DT、MT、FT のいずれかがみられるため、この集団 (10 名) のう蝕有病者率 (%) は 7/10 × 100 = 70% である。

受診者	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
DT	1	0	2	1	0	0	2	0	4	2
MT	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
FT	4	0	5	3	4	0	6	0	8	6

(問題 21) ある集団を対象に質問紙調査を行った結果を表に示す。

	喫煙あり	喫煙なし
男	40人	60人
女	15人	85人

- 男女の喫煙率の有意差を調べる方法はどれか。
- a t検定
  - b 相関分析
  - c 分散分析
  - d カイ二乗検定

選択肢考察 答え d

- × a t検定は2群の平均値の比較である。
- × b 相関分析は2群間の関係を数値で記述する分析方法である。正の相関や負の相関がある。
- × c 分散分析はデータのもつばらつきが因子によるものより実験誤差によるもののほうが大きいかを検定し、因子によるばらつきのほうが大きければ母平均に差があると検定である。
- d カイ二乗検定は2群の割合の比較である。男性の喫煙率は  $40 / (40 + 60) \times 100 = 40\%$ 、女性の喫煙率は  $15 / (15 + 85) \times 100 = 15\%$  で、男女の喫煙率の有意差を調べるということは2群の割合の比較のため、カイ二乗検定が有効である。

(問題 22) 健康日本 21 (第二次) の「歯・口腔の健康」の項目と目標値の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 20 歳代における歯肉に炎症所見を有する者の減少 — 25%
- b 40 歳代における進行した歯周炎を有する者の減少 — 40%
- c 60 歳で 24 歯以上の自分の歯を有する者の増加 — 60%
- d 80 歳で 20 歯以上の自分の歯を有する者の増加 — 50%

選択肢考察 答え a d

- a 「20 歳代における歯肉に炎症所見を有する者の減少」の目標値は 25% である。
- × b 「40 歳代における進行した歯周炎を有する者の減少」の目標値は 25% である。
- × c 「60 歳で 24 歯以上の自分の歯を有する者の増加」の目標値は 70% である。
- d 「80 歳で 20 歯以上の自分の歯を有する者の増加」の目標値は 50% である。

(問題 23) 市町村が行う歯周疾患検診の根拠となる法律はどれか。

- a 地域保健法
- b 健康増進法
- c 歯科口腔保健の推進に関する法律
- d 高齢者の医療の確保に関する法律

選択肢考察 答え b

- × a 「地域保健法」は保健所や市町村保健センターの設置の根拠となる法律である。
- b 「健康増進法」は市町村が行う歯周疾患検診の根拠となる法律である。ほかに「健康増進法」に基づいて市町村が行う検診には骨粗鬆症検診、がん検診、肝炎ウイルス検診がある。

- × c 「歯科口腔保健の推進に関する法律」は口腔保健支援センターの設置の根拠となる法律である。
- × d 「高齢者の医療の確保に関する法律」は特定健康診査・特定保健指導や後期高齢者医療制度の根拠となる法律である。

(問題 24) プライマリヘルスケアの理念が採択されたのはどれか。

- a シドニー宣言
- b リスボン宣言
- c ヘルシンキ宣言
- d アルマ・アタ宣言

選択肢考察 答え d

- × a シドニー宣言は死の判定基準に関する基本指針を示したものである。
- × b リスボン宣言は患者の自己決定権について謳われている。
- × c ヘルシンキ宣言はヒトを対象とした医学研究の倫理指針である。
- d アルマ・アタ宣言はプライマリヘルスケアの理念が採択されている。

(問題 25) 光化学オキシダントの原因物質となるのはどれか。

- a 二酸化窒素
- b 二酸化炭素
- c 二酸化硫黄
- d 二酸化ケイ素

選択肢考察 答え a

○ a、× b、× c、× d  
光化学オキシダントは大気汚染物質で、窒素酸化物(二酸化窒素)と揮発性有機化合物とが太陽光の作用により反応して二次的に生成されるオゾンなどの強い酸化力をもった物質とされている。

(問題 26) 平成 25 年国民生活基礎調査における介護が必要となった原因とその割合を図に示す。



①はどれか。

- a 認知症
- b 骨折・転倒
- c 脳血管疾患
- d 高齢による衰弱

選択肢考察 答え c

- × a 認知症は介護が必要となった原因の第 2 位 (②) である。
- × b 骨折・転倒は介護が必要となった原因の第 4 位 (④) である。
- c 脳血管疾患は介護が必要となった原因の第 1 位 (①) である。
- × d 高齢による衰弱は介護が必要となった原因の第 3 位 (③) である。

(問題 27) 母子健康手帳で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 市町村が交付する。
- b 予防接種歴を記載する。
- c 児童福祉法に基づいている。
- d 出産の届け出時に交付される。

選択肢考察 答え a b

- a 母子健康手帳は市町村が交付する。
- b 母子健康手帳には予防接種歴を記載する。
- × c 母子健康手帳は「母子保健法」に基づいている。
- × d 母子健康手帳は妊娠の届け出時に交付される。

(問題 28) 特定健康診査における基本的な健診項目はどれか。

- a 心電図
- b 眼底検査
- c 貧血検査
- d 血糖検査

選択肢考察 答え d

- × a、× b、× c これらは特定健康診査における基本的な健診項目に含まれていない。
- d 特定健康診査における基本的な健診項目は、
  - ・ 質問票 (服薬歴、喫煙歴等)
  - ・ 身体計測 (身長、体重、BMI、腹囲)
  - ・ 血圧検査
  - ・ 理学的検査 (身体診察)
  - ・ 検尿 (尿糖、尿蛋白)
  - ・ 血液検査
    - 脂質検査 (中性脂肪、HDL コレステロール、LDL コレステロール)
    - 血糖検査 (空腹時血糖または HbA1c)
    - 肝機能検査 (AST、ALT、γ-GTP)
 である。

(問題 29) 大規模災害や突発事故などから生じた精神疾患はどれか。

- a PTSD
- b 自閉症
- c 精神遅滞
- d アルツハイマー型認知症

選択肢考察 答え a

- a PTSD は本人もしくは身近な者への生命に対する重大な脅威となる出来事 (大規模災害や突発事故など) に巻き込まれたことにより生じる障害をさす。あたかも過去の出来事が目の前で起こっているかのような錯覚 (フラッシュバック)、睡眠障害、過度の反応などの症状を特徴とする。
- × b、× c、× d これらは大規模災害や突発事故などから生じる精神疾患ではない。

(問題 30) 就学時健康診断を定めている法律はどれか。

- a 学校教育法
- b 教育基本法
- c 児童福祉法
- d 学校保健安全法

選択肢考察 答え d

- × a 「学校教育法」は学校や保健教育などについて定められた法律である。
- × b 「教育基本法」は教育の目的などについて定められた法律である。
- × c 「児童福祉法」は児童福祉や児童福祉施設などについて定められた法律である。
- d 「学校保健安全法」は保健管理や就学時健康診断、定期健康診断などについて定められた法律である。

(問題 31) 「歯を丈夫で健康にする食品」と表示できるのはどれか。

- a 特別用途食品
- b 栄養機能食品
- c 健康補助食品
- d 特定保健用食品

選択肢考察 答え d

- × a 特別用途食品とは病者用食品 (個別基準型、許可基準型: 低たんぱく質食品、アレルギー除去食品、無乳糖食品、総合栄養食品)、妊産婦・授乳婦用粉乳、乳児用調整粉乳、えん下困難者用食品、特定保健用食品をいう。
- × b 栄養機能食品は食生活などの理由により、不足しがちな栄養成分の補給を目的とした食品である。
- × c 健康補助食品は栄養成分を補給し、または特別の保健の用途に適するもの、そのほか健康の保持・増進および健康管理の目的のために摂取される食品である。
- d 特定保健用食品は食品のもつ特定の保健の用途を表示して販売される食品である。「歯を丈夫で健康にする食品」と表示できるのは特定保健用食品である。

(問題 32) 国民健康・栄養調査で、高度経済成長期と比べて、近年摂取量が増加しているのはどれか。

- a 食塩
- b 魚介類
- c 炭水化物
- d 緑黄色野菜

選択肢考察 答え d

- × a、× b、× c 国民健康・栄養調査で、高度経済成長期と比べて、食塩、魚介類、炭水化物は近年摂取量が減少している。
- d 国民健康・栄養調査で、高度経済成長期と比べて、緑黄色野菜は近年摂取量が増加している。

(問題 33) 歯科保健指導で、問題解決を行う際に適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 問題解決まで方針を変えない。
- b 複数の問題点には優先順位をつける。
- c 問題解決は歯科衛生士主導で決定する。
- d 得られた情報から問題点を明確にする。

選択肢考察 答え b d

- × a 問題解決まで状況にあわせて方針は変更すべきである。解決できない方針を続けることは適切ではない。
- b 複数の問題点があるときは同時に解決できないため、解決できるものから優先順位をつける。
- × c 問題解決は歯科衛生士主導ではなく、チーム全体で決定する。
- d 得られた情報から問題点を明確にすることが重要である。

(問題 34) 口内法エックス線撮影時、被曝線量の軽減に有効なのはどれか。2つ選べ。

- a 管電流を増加する。
- b 照射野を大きくする。
- c ロングコーンを使用する。
- d 高感度フィルムを使用する。

選択肢考察 答え c d

- × a 管電圧を増加すると被曝線量の軽減につながる。

- × b 照射野を小さくすると被曝線量の軽減につながる。
- c ロングコーンを使用すると被曝線量の軽減につながる。
- d 高感度フィルムを使用すると被曝線量の軽減につながる。

(問題 35) 金属アレルギー検査はどれか。2つ選べ。

- a パッチテスト
- b 薬剤感受性試験
- c ガスクロマトグラフィー
- d DLST (薬剤誘発性リンパ球刺激試験)

選択肢考察 答え a d

- a パッチテストとは、IV型アレルギー(接触性皮膚炎、薬疹、金属アレルギーなど)の原因物質を確定するため、疑いのある物質を背中や腕に貼布して反応を調べる方法である。
- × b 薬剤感受性試験の拡散法(感受性ディスク法)とは、一定量の菌を試験用の寒天培地(用いる試験により異なる)の表面に接種し、その上に一定量の薬剤(抗菌薬)を含む濾紙(ペーパーディスク)を置き、一定時間培養後、形成された発育阻止円の大きさから薬剤に対する感受性を測定する方法である。
- × c ガスクロマトグラフィーとは、気体あるいは気化させた液体・固体試料を管中を通し、試料成分と充填剤との相互作用による移動速度の差を利用して、各成分を分離する方法である。口臭の客観的測定方法として利用される。
- d DLST(薬剤誘発性リンパ球刺激試験)とは、IV型アレルギー(接触性皮膚炎、薬疹、金属アレルギーなど)を有する患者の末梢血液中に製剤によって感作されたリンパ球が存在するか否かを、患者末梢血単核球と薬剤の共培養した後、リンパ球の増殖率で検出する方法である。

(問題 36) 口腔乾燥症に対する検査はどれか。

- a フードテスト
- b サクソテスト
- c 改訂水飲みテスト
- d 反復唾液嚥下テスト

選択肢考察 答え b

- × a フードテストとは、ティースプーン1杯ほどのプリンなどを摂取してもらい、嚥下障害の有無を調べる検査である。
- b サクソテストとは、ガーゼを2分間噛み、2g以上の唾液の分泌を基準とし、唾液分泌量を測定する方法で、口腔乾燥症に対する検査である。
- × c 改訂水飲みテスト(MWST)とは、3mLの冷水を嚥下させ誤嚥の有無を判定する検査である。簡便なため、訪問リハビリやデイケア・デイサービスでも活用できる評価である。
- × d 反復唾液嚥下テスト(RSST)とは、嚥下障害の有無を調べる検査である。唾液を飲み込んだときに、喉頭隆起が検査者の指腹を乗り越えて上前方に移動して、元の位置に戻った時点をも1回として数え、30秒間に何回できるかを測定する。3回以上で正常、2回以下では嚥下障害が疑われる。

(問題 37) 手指の消毒に使用するのはどれか。2つ選べ。

- a ポビドンヨード
- b グルタルアルデヒド
- c 次亜塩素酸ナトリウム
- d クロルヘキシジングルコン酸塩

選択肢考察 答え a d

- a 0.25~0.5%ポビドンヨードは手指、皮膚、粘膜の消毒に使用する。金属製器具、非金属製器具には使用しない。

- × b 1~2%グルタルアルデヒドは手指、皮膚、粘膜の消毒には使用しない。金属製器具、非金属製器具には使用する。
- × c 0.02~0.5%次亜塩素酸ナトリウムは手指、皮膚、金属製器具の消毒には使用しない。非金属製器具には使用する。
- d 0.05~0.5%クロルヘキシジングルコン酸塩は手指、皮膚、金属製器具、非金属製器具に使用する。粘膜には使用しない。

(問題 38) 28歳の男性。歯の痛みを主訴として来院した。2年前から食後に嘔吐を繰り返しているという。初診時の口腔内写真(別冊午前No.3)を別に示す。

考えられるのはどれか。

- a 咬耗症
- b 酸蝕症
- c 摩耗症
- d エナメル質形成不全症

別冊 午前 No.3

選択肢考察 答え b



上顎前歯の舌側面に侵蝕されている

- × a 咬耗症は上下顎歯が強く接触する部位に生じやすい。
- b 2年前から嘔吐癖があり、上顎前歯舌側面に侵蝕されているため、胃酸による酸蝕症が考えられる。
- × c 摩耗症はブラッシングや義歯のクラスプなどが関与する。
- × d エナメル質形成不全症が上顎前歯舌側面のみに生じるとは考えにくい。

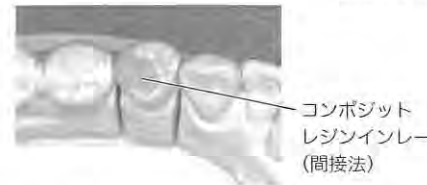
(問題 39) 46歳の女性。歯の冷水痛を主訴として来院した。コンポジットレジンインレー修復を行うことになった。コンポジットレジンインレー製作時の写真(別冊午前No.4)を別に示す。

直接法と比較した長所はどれか。2つ選べ。

- a 耐摩耗性が向上する。
- b 来院回数が少なくなる。
- c 隣接面の接触点の回復に優れる。
- d コントラクションギャップの形成が促進される。

別冊 午前 No.4

選択肢考察 答え a c



- a 直接法と比較して間接法では重合率を向上できるため、耐摩耗性が向上する。
- × b 間接法よりも直接法のほうが来院回数が少ない。

- c 直接法と比較して、間接法では隣接面の形態や接触点の回復に優れる。
- × d 口腔外でレジンインレーを重合させたものをレジンセメントで接着させる間接法のほうがコントラクションギャップの形成は少ない。

(問題 40) コンポジットレジンインレー体内面にシランカップリング処理を行うことで得られる効果はどれか。

- a 嵌合効果
- b 接着効果
- c 静電効果
- d 相互拡散効果

選択肢考察 答え b

- × a シランカップリング処理と嵌合効果は関係ない。
- b シランカップリング処理を行うことにより、レジンインレーに含有されるフィラーとレジンセメントとの接着効果が得られる。
- × c シランカップリング処理と静電効果は関係ない。
- × d シランカップリング処理と相互拡散効果は関係ない。

(問題 41) 45歳の女性。上顎左側側切歯の変色を主訴として来院した。4年前から気付いていたが放置していたという。初診時の口腔内写真(別冊午前No.5)を別に示す。

変色の原因として考えられるのはどれか。

- a 喫煙
- b 歯髄壊死
- c 象牙質形成不全症
- d テトラサイクリン服用

別冊 午前 No.5

選択肢考察 答え b



上顎左側側切歯のみ変色している

- × a 側切歯が全体的に変色しており喫煙が原因とは考えにくい。
- b 側切歯のみが変色しており歯髄壊死による変色が考えられる。
- × c 象牙質形成不全症が1歯のみに出現するとは考えにくい。
- × d テトラサイクリン服用による変色が1歯のみに出現するとは考えにくい。

(問題 42) 38歳の女性。上顎左側臼歯部の歯肉からの排膿を主訴として来院した。2週前から同部の腫脹と疼痛を認めていたが放置していたという。頬側歯肉部に瘻孔がみられ、上顎左側第二小臼歯と第一大臼歯に打診痛を認めた。エックス線写真撮影直前の口腔内写真(別冊午前No.6)を別に示す。

この検査の目的はどれか。

- a 根管長の測定
- b 原因歯の特定
- c 歯根破折の診断
- d 歯髄の生死の判定

別冊 午前 No.6

選択肢考察 答え b



瘻孔からガッタパーチャポイントを挿入している

- × a 瘻孔からガッタパーチャポイントを挿入しても根管長の測定はできない。
- b 瘻孔からガッタパーチャポイントを挿入してエックス線写真を撮影することで、瘻孔の原因歯の特定が可能となる。
- × c 瘻孔からガッタパーチャポイントを挿入することと歯根破折の診断とは関係がない。
- × d 瘻孔からガッタパーチャポイントを挿入しても歯髄の生死の判定はできない。

(問題 43) 19歳の女性。ブラッシング時の疼痛を主訴として来院した。2年前から気付いていたが放置していたという。既往歴にてんかんがあり、投薬を受けている。初診時の口腔内写真(別冊午前No.7)を別に示す。

考えられる対応で、まず行うのはどれか。

- a 歯肉の切除
- b 服用薬の中止
- c 抗菌薬の投与
- d ブラークコントロール

別冊 午前 No.7

選択肢考察 答え d



歯肉増殖が認められる

- × a 歯肉の切除が必要となる可能性はあるが、まず行う対応ではない。
- × b てんかんのために医科で投与している薬を勝手に中止させることはない。
- × c 抗菌薬の投与は感染による急性炎症に有効である。
- d 薬物性歯肉増殖はブランクによる炎症が関与しており、まずブランクコントロールを行うのがよい。

(問題 44) 36歳の女性。上下顎前歯部歯肉からの出血を主訴として来院した。検査の結果、侵襲性歯周炎と診断され、歯周治療を行うことになった。初診時の口腔内写真(別冊午前No.8)を別に示す。

歯周基本治療開始前に説明すべきリスクはどれか。2つ選べ。

- a 歯根破折
- b 構音障害
- c エナメル質う蝕
- d 象牙質知覚過敏症

別冊 午前 No.8

選択肢考察 答え b d



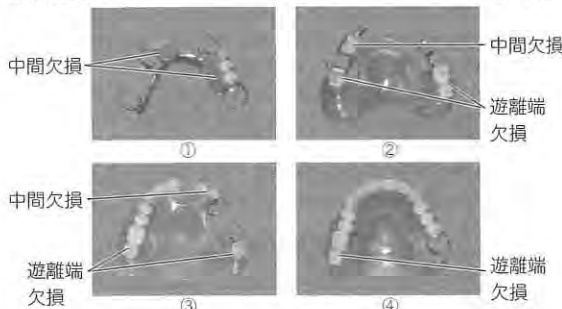
- × a 歯周基本治療で歯根破折が生じるとは考えにくい。
- b、○ d 歯周基本治療により歯肉退縮が生じると構音障害や象牙質知覚過敏症、審美障害などが生じやすい。そのため、治療開始前に患者に説明しておくべきである。
- × c 歯周基本治療でエナメル質う蝕が生じるとは考えにくい。

(問題 45) 部分床義歯の写真(別冊午前 No.9)を別に示す。複合義歯はどれか。2つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

別冊 午前 No.9

選択肢考察 答え b c



- × a ①は中間欠損しかないので中間義歯である。
- b ②は中間欠損と遊離端欠損があるので複合義歯である。
- c ③は中間欠損と遊離端欠損があるので複合義歯である。
- × d ④は遊離端欠損しかないので遊離端義歯である。

(問題 46) 有床義歯製作において、前歯部人工歯選択の SPA 要素に含まれないのはどれか。

- a 性格
- b 性別
- c 職業
- d 年齢

選択肢考察 答え c

- a 性格(Personality)はSPA要素の「P」に該当する。
- b 性別(Sex)はSPA要素の「S」に該当する。
- × c 職業はSPA要素に含まれない。
- d 年齢(Age)はSPA要素の「A」に該当する。

(問題 47) 固定性ブリッジの構成要素はどれか。2つ選べ。

- a 支台歯
- b 築造体
- c 連結部
- d 支台装置

選択肢考察 答え c d

- × a 支台歯はブリッジを装着する歯のことである。
- × b 築造体には、メタルコア、レジンコアなどがある。
- c、○ d ブリッジは支台装置、ポンティック、連結部から構成される。

(問題 48) 半固定性ブリッジに用いるのはどれか。

- a 磁性アタッチメント
- b キーアンドキーウェイ
- c コーヌステレスコープ
- d Oリングアタッチメント

選択肢考察 答え b

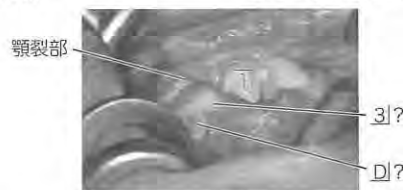
- × a 磁性アタッチメントはオーバーデンチャーの支台装置に用いられることが多い。
- b キーアンドキーウェイは半固定性ブリッジの連結部に用いられる。
- × c コーヌステレスコープは部分床義歯の支台装置に用いられる。
- × d Oリングアタッチメントはオーバーデンチャーの支台装置に用いられることが多い。

(問題 49) 9歳の男児。顎裂部の矯正歯科治療を目的に紹介され来院した。両側唇顎口蓋裂で、生後4か月時に口唇形成術、1歳6か月時に口蓋形成術を受けたという。現在は両側顎裂を認める。術前の口腔内写真(別冊午前 No.10)を別に示す。考えられる手術はどれか。2つ選べ。

- a 骨移植術
- b 小帯切除術
- c 瘻孔閉鎖術
- d 骨隆起除去術

別冊 午前 No.10

選択肢考察 答え 厚労省発表 採点除外



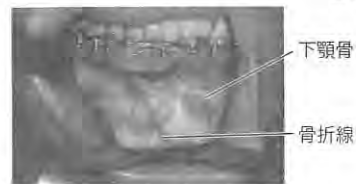
- a 骨移植術は顎裂が認められる場合に行われる。
- × b 小帯切除術は唇顎口蓋裂で行われる手術ではない。
- c 瘻孔閉鎖術は顎裂が認められる場合に行われる。
- × d 骨隆起除去術は大きな口蓋隆起や下顎隆起が認められる場合に行われる。

(問題 50) 16歳の男子。交通事故で受傷し、救急車で搬送された。下顎骨骨折と診断され、全身麻酔下に観血的整復固定術を行うことになった。術中写真(別冊午前 No.11)を別に示す。骨片の固定に用いるのはどれか。2つ選べ。

- a 金属線
- b 床副子
- c ミニプレート
- d バイトプレート

別冊 午前 No.11

選択肢考察 答え a c



- a 金属線は下顎骨骨折の治療である観血的整復固定術を行う際に用いられる。
- × b 床副子は小児あるいは老人の下顎骨骨折の治療の際に用いられる。
- c ミニプレートは下顎骨骨折の治療である観血的整復固定術を行う際に用いられる。
- × d バイトプレートは別名スプリントであり、顎関節症やブラキシズムの治療の際に用いられる。

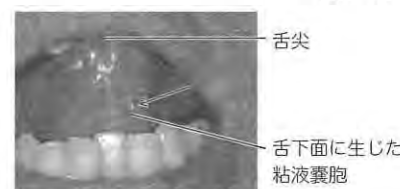
(問題 51) 26歳の女性。舌下面の異常を訴えて来院した。2か月前から舌下面の腫脹に気づき、病変の増大と縮小を繰り返しているという。口腔内写真(別冊午前 No.12)を別に示す。腫脹を矢印で示す。

考えられるのはどれか。

- a 膿瘍
- b 血管腫
- c 線維腫
- d 粘液嚢胞

別冊 午前 No.12

選択肢考察 答え d

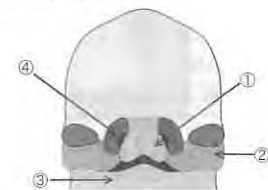


- × a 膿瘍とは多数の好中球がみられる膿汁が貯留している化膿性炎のことである。
- × b 血管腫は組織の発育異常や奇形による過誤腫的な病変である。青紫色の腫瘍で、圧迫すると血液が移動して退色する。
- × c 線維腫は良性の線維性結合組織の増殖性病変で、膠原繊維と線維芽細胞からなる。
- d 舌下面の腫脹、病変の増大と縮小を繰り返しているという点から粘液嚢胞と考えられる。唾液腺の流出障害によって生じる偽嚢胞で、下口唇や舌下面の小唾液腺に好発する。

(問題 52) 胎生7週の顔面構造を図に示す。

上顎突起はどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



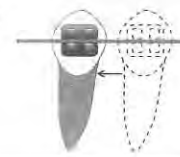
選択肢考察 答え b

- × a ①は内側鼻突起である。
- b ②は上顎突起である。
- × c ③は下顎突起である。
- × d ④は外側鼻突起である。

(問題 53) 下顎犬歯の移動を図に示す。

移動様式はどれか。

- a 挺出
- b トルク
- c 傾斜移動
- d 歯体移動



選択肢考察 答え d

- × a 挺出は、歯が歯槽骨から飛び出す方向への移動様式である。
- × b トルクは、歯根を唇・頬舌的に回転させる移動様式である。
- × c 傾斜移動は、歯根の根尖側1/3を回転中心に、根尖は歯冠と反対方向へ移動する様式である。
- d 歯体移動は、歯冠と歯根が同じ方向へ同じ距離だけ移動する様式であり、図に示す移動様式である。

(問題 54) 矯正歯科治療用器具の写真(別冊午前 No.13)を別に示す。

適切な用途はどれか。

- a 結紮線の切断
- b トルクの付与
- c 補助弾線の調整
- d アーチワイヤーの切断

別冊 午前 No.13

選択肢考察 答え a



- a 写真の器具はピンアンドドリガチャーカッターであり、結紮線の切断に用いる。
- × b トルクの付与に用いるのはツイードアーチベンディングプライヤーである。
- × c 補助弾線の調整はヤングプライヤーなどを用いる。
- × d アーチワイヤーの切断はワイヤーカッターを用いる。

(問題 55) 13歳の女子。マルチブラケット装置を用いた矯正歯科治療の段階が終了した。本日から下顎歯列に使用する装置の写真(別冊午前 No.14)を別に示す。

装置の名称はどれか。

- a バイオネーター
- b 犬歯間保定装置
- c トゥースポジショナー
- d ホーレータイプリテーナー

別冊 午前 No.14

選択肢考察 答え d



- × a バイオネーターは唇側線や舌側線などが存在する機能的矯正装置である。
- × b 犬歯間保定装置は固定式保定装置である。
- × c トゥースポジショナーは上下顎が一塊となった可撤式保定装置である。
- d 写真の装置はレジン床に唇側線やクラスプが付与されており、ホーレータイプリテーナーである。

(問題 56) Hellman の歯齡 II C 期の第一大臼歯の特徴はどれか。  
 a 咬耗が著しい。  
 b う蝕感受性が低い。  
 c 咬合が安定している。  
 d 自浄作用が働きにくい。

選択肢考察 答え d  
 × a II C 期の第一大臼歯は萌出完了していないため、咬耗が著しいことはない。  
 × b II C 期の第一大臼歯は幼若永久歯であるため、う蝕感受性が高い。  
 × c II C 期の第一大臼歯は萌出完了していないため、咬合は安定していない。  
 ○ d II C 期の第一大臼歯は萌出完了していないため、自浄作用が働きにくい。

(問題 57) 8 歳の女兒。上顎左側中切歯の色調異常を訴えて来院した。萌出時から異常が認められ、歯磨きをしても変化はないという。歯の発育段階での異常と診断された。口腔内写真(別冊午前 No.15)を別に示す。  
 原因として考えられるのはどれか。  
 a 外胚葉異形成症  
 b フッ化物の過剰摂取  
 c エナメル質形成不全症  
 d 先行乳歯の根尖性歯周炎

別冊 午前 No.15

選択肢考察 答え d

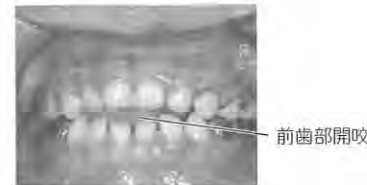


× a 外胚葉異形成症で 1 歯の一部のみ色調異常になることはない。  
 × b フッ化物の過剰摂取で 1 歯の一部のみ色調異常になることはない。  
 × c エナメル質形成不全症で 1 歯の一部のみ色調異常になることはない。  
 ○ d 1 歯のみの色調異常であり、先行乳歯の根尖性歯周炎によるエナメル質形成不全が考えられる。

(問題 58) 5 歳の男児。前歯で食物が咬みにくいことを訴えて来院した。全身疾患は認められず、う蝕の治療は終了している。咬合時の口腔内写真(別冊午前 No.16)を別に示す。  
 咬合異常の原因として考えられるのはどれか。2つ選べ。  
 a 頬杖  
 b 吸指癖  
 c 舌突出癖  
 d 歯ぎしり

別冊 午前 No.16

選択肢考察 答え b c



前歯部開咬

× a 頬杖により前歯部開咬が生じるとは考えられない。  
 ○ b、○ c 前歯部開咬がみられ、吸指癖や舌突出癖が考えられる。  
 × d 歯ぎしりにより前歯部開咬が生じるとは考えられない。

(問題 59) パーキンソン病の典型的な症状はどれか。2つ選べ。  
 a 出血しやすい。  
 b 手足が震える。  
 c 暴力的態度をとる。  
 d 筋肉の緊張が亢進する。

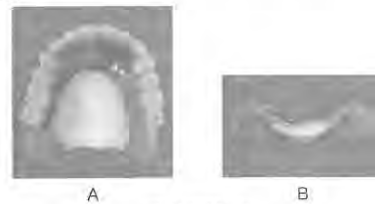
選択肢考察 答え b d

× a 易出血性はパーキンソン病の典型的な症状ではない。  
 ○ b 手足が震える(振戦)はパーキンソン病の典型的な症状である。  
 × c 暴力的態度はパーキンソン病の典型的な症状ではない。  
 ○ d 筋肉の緊張が亢進する(固縮)はパーキンソン病の典型的な症状である。

(問題 60) 77 歳の男性。脳梗塞発症後、口蓋に食渣が付着することを訴えている。この患者に装着した口腔内装置の写真(別冊午前 No.17A、B)を別に示す。  
 適応症はどれか。  
 a 舌挙上不全  
 b 口唇閉鎖不全  
 c 軟口蓋挙上不全  
 d 食道入口部開大不全

別冊 午前 No.17A、B

選択肢考察 答え a



舌接触補助床

○ a 写真の口腔内装置は舌接触補助床である。舌の切除や運動障害を原因とした著しい機能低下により、舌と硬・軟口蓋の接触が得られない患者に対して用いる装置で、舌挙上不全が適応症である。  
 × b 口唇閉鎖不全に対しては口唇訓練が適応である。  
 × c 軟口蓋挙上不全に対しては軟口蓋挙上装置の装着が適応である。  
 × d 食道入口部開大不全に対してはシャキア法やメンデルソン手技が適応である。

(問題 61) 82 歳の男性。脳梗塞発症後、右片麻痺があり、摂食機能療法における間接訓練を継続してきた。座位は困難な状態である。本日から直接訓練を開始する予定である。  
 誤嚥を起こしにくい姿勢はどれか。  
 a 頸部を伸展する。  
 b 頸部を左側に回旋する。  
 c 下肢は両側の膝を伸展する。  
 d 左側を下側の半側臥位にする。

選択肢考察 答え d

× a 頸部伸展姿勢は食塊が喉頭へ侵入しやすくなる。この姿勢は口腔から咽頭への食塊の送り込み機能が減退している舌運動障害患者などに有効である。  
 × b 頸部回旋姿勢は頸部を患側に回転させることで、患側の下咽頭腔を狭めると同時に健側の下咽頭腔を拡大し、多くの食塊を健側の下咽頭に通過させる方法である。患側は右側のため、頸部を右側に回旋させる。  
 × c 座位が困難な状態のためファーラ位や半側臥位が好ましいが、ファーラ位では下肢の両側の膝は屈曲させる。  
 ○ d 片麻痺患者では患側を上(健側を下)にする。患側は右側のため、左側(健側)を下側の半側臥位にする。

(問題 62) 胃瘻について正しいのはどれか。

a 鼻腔から胃への栄養路を確保する。  
 b 口腔から胃への栄養路を確保する。  
 c 皮膚から胃への栄養路を外科的に造設する。  
 d 直腸から胃への栄養路を非外科的に確保する。

選択肢考察 答え c

× a 鼻腔から胃への栄養路を確保するのは経鼻経管栄養法である。  
 × b、× d これらは胃瘻ではない。  
 ○ c 胃瘻では皮膚から胃への栄養路を外科的に造設する。カテーテルの先端を胃に留置するが、胃食道逆流が著明なときは腸に留置する。

(問題 63) う蝕予防処置はどれか。2つ選べ。

a ブラッシング  
 b 小窩裂溝充填  
 c フッ化物歯面塗布  
 d フッ化ジアンミン銀塗布

選択肢考察 答え b c

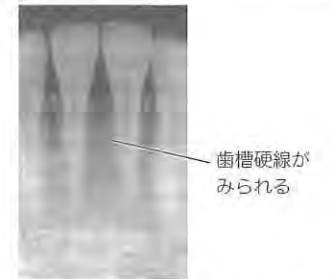
× a ブラッシングはう蝕予防のための専門的な処置ではない。  
 ○ b 小窩裂溝充填はう蝕予防処置である。  
 ○ c フッ化物歯面塗布はう蝕予防処置である。  
 × d フッ化ジアンミン銀塗布は乳歯う蝕に対する処置である。

(問題 64) エックス線写真(別冊午前 No.18)を別に示す。観察できるのはどれか。

a 歯槽硬線  
 b 歯根嚢胞  
 c 隣接面う蝕  
 d 垂直性骨吸収

別冊 午前 No.18

選択肢考察 答え a



歯槽硬線がみられる

○ a 歯根に面する歯槽骨が一層白く観察できる。これを歯槽硬線という。  
 × b 根尖部に歯根嚢胞はみられない。  
 × c 隣接面にう蝕はみられない。  
 × d 骨頂部に垂直性骨吸収はみられない。

(問題 65) う蝕活動性試験で予測できるのはどれか。2つ選べ。

a 発病  
 b 進行  
 c 停止  
 d 喪失

選択肢考察 答え a b

○ a、○ b う蝕活動性試験ではう蝕の発病および進行のリスクを予測できる。  
 × c う蝕の停止をう蝕活動性試験によって予測することはできない。  
 × d 歯の喪失をう蝕活動性試験で予測することはできない。

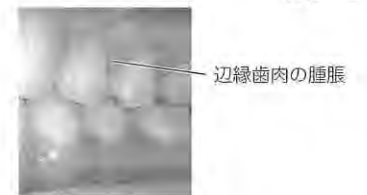
(問題 66) 初診患者の口腔内写真(別冊午前 No.19)を別に示す。

認められる歯肉形態の異常はどれか。

a クレフト  
 b クレーター  
 c フェストゥーン  
 d テンションリッジ

別冊 午前 No.19

選択肢考察 答え c



辺縁歯肉の腫脹

× a クレフトは V 字や U 字の歯肉退縮である。  
 × b クレーターは乳頭歯肉がロート状に陥没した状態である。  
 ○ c フェストゥーンは辺縁歯肉がロール状に肥厚したものであり、口腔内写真で認められる。  
 × d テンションリッジは上顎口蓋側歯肉にみられる。

(問題 67) 歯周疾患の第二次予防はどれか。2つ選べ。

a 咬合調整  
 b 歯周補綴  
 c 口腔清掃  
 d 歯周外科治療

選択肢考察 答え a d

- a 咬合調整は歯周疾患の第二次予防である。
- × b 歯周補綴は歯周疾患の第三次予防である。
- × c 口腔清掃は歯周疾患の第一次予防である。
- d 歯周外科治療は歯周疾患の第二次予防である。

(問題 68) PMTC に用いるのはどれか。

- a 歯ブラシ
- b スケーラー
- c フッ化物配合研磨材
- d エアタービンハンドピース

選択肢考察 答え c

- × a 歯ブラシは PMTC に用いられない。
- × b スケーラーは PMTC に用いられない。
- c PMTC は歯科医師や歯科衛生士が行う機械的な歯面清掃であり、フッ化物配合研磨材が用いられる。
- × d エアタービンハンドピースは PMTC に用いられない。

(問題 69) 判定までに 4 日間の培養を要するのはどれか。

- a RD テスト<sup>®</sup>
- b Dentocult<sup>®</sup>-LB
- c ミューカウント<sup>®</sup>
- d カリオスタット<sup>®</sup>

選択肢考察 答え b

- × a RD テスト<sup>®</sup> は皮膚温で 15 分あたためる。
- b Dentocult<sup>®</sup>-LB は 4 日間の培養を要する
- × c ミューカウント<sup>®</sup> は 24 時間培養する。
- × d カリオスタット<sup>®</sup> は 24 ~ 48 時間培養する。

(問題 70) フッ化物歯面塗布後の指導で正しいのはどれか。2 つ選べ。

- a 定期的な塗布を勧める。
- b 塗布効果の限界を説明する。
- c 塗布直後のうがいを勧める。
- d 口にたまった唾液を飲み込ませる。

選択肢考察 答え a b

- a フッ化物歯面塗布は 1 回のみでは効果が少ないため、塗布後の指導では定期的な塗布を勧める。
- b フッ化物歯面塗布を行ってもう蝕が完全に予防できるわけではないため、塗布後の指導では塗布効果の限界を説明する。
- × c フッ化物歯面塗布後 30 分間はうがいや飲食を避けるよう指導する。
- × d フッ化物歯面塗布後は口にたまった唾液を吐き出すよう指導する。

(問題 71) 厚生労働省のガイドラインで定めるフッ化物洗口開始の対象年齢はどれか。

- a 3 歳
- b 4 歳
- c 5 歳
- d 6 歳

選択肢考察 答え b

- × a、○ b、× c、× d
- 厚生労働省のフッ化物洗口ガイドラインでは、フッ化物洗口の対象年齢が 4 歳からとなっている。したがって、洗口開始の対象年齢は 4 歳である。

(問題 72) 小窩裂溝填塞法の酸処理面の深さはどれか。

- a 10 ~ 30 μm
- b 50 ~ 100 μm
- c 200 ~ 300 μm
- d 500 ~ 1000 μm

選択肢考察 答え a

- a、× b、× c、× d
- 小窩裂溝填塞法でのリン酸エッチング処理ではエナメル質が 10 ~ 30 μm 脱灰され、填塞材の保持がなされる。

(問題 73) 歯周病原細菌により引き起こされる可能性があるのはどれか。

- a 菌血症
- b 自臭症
- c 骨粗鬆症
- d 遺伝性歯肉線維腫症

選択肢考察 答え a

- a 歯周病原細菌が血管に入り込むことによって菌血症が引き起こされる可能性がある。
- × b 自臭症は歯周病原細菌が原因で生じることではない。
- × c 骨粗鬆症は歯周病原細菌が原因で生じることではない。
- × d 遺伝性歯肉線維腫症は歯周病原細菌が原因で生じることではない。

(問題 74) シャーピング操作で正しいのはどれか。2 つ選べ。

- a 施術中は滅菌した砥石を使用する。
- b 刃部側面と砥石の角度を一定にする。
- c アーカンサスストーンでは潤滑材は不要である。
- d 刃部のトゥからヒールに向かってまっすぐ研ぐ。

選択肢考察 答え a b

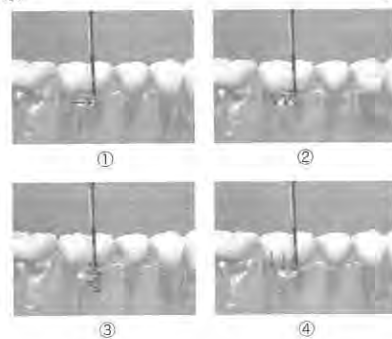
- a 施術中は感染予防の観点から、滅菌した砥石を使用してシャープニング操作を行う。
- b シャープニング操作は刃部側面と砥石の角度を一定にして行う。
- × c アーカンサスストーンでは潤滑材として鉱物油を使用する。
- × d シャープニング操作は刃部のヒールからトゥに向かって研ぐ。

(問題 75) プロービング操作の写真(別冊午前 No.20)を別に示す。歯周組織検査時のプローブの先端の動きを矢印で示す。ウォーキングストロークはどれか。

- a ① b ② c ③ d ④

別冊 午前 No.20

選択肢考察 答え b



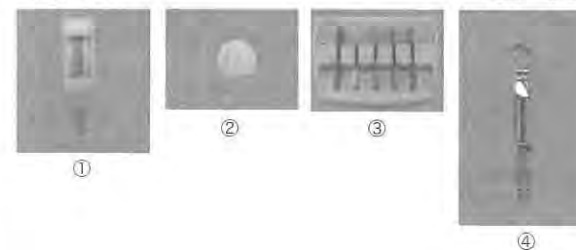
- × a、○ b、× c、× d
- ウォーキングストロークは、②のようにポケット内でプローブを少しずつ動かしながら探る操作である。

(問題 76) 40 歳の女性。奥歯に物が挟まることを主訴として来院した。器材の写真(別冊午前 No.21)を別に示す。検査に用いるのはどれか。2 つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

別冊 午前 No.21

選択肢考察 答え b c



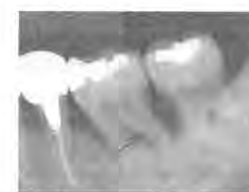
- × a ①は研磨用ストリップスであり、歯間部の修復時に用いる。
- b ②はフロスであり、食片圧入を訴えている場合の歯間部の検査に用いる。
- c ③はコンタクトゲージであり、食片圧入を訴えている場合の歯間部の検査に用いる。
- × d ④はタッフルマイヤーとマトリックスであり、歯間部の修復時に用いる。

(問題 77) エックス線写真(別冊午前 No.22)を別に示す。矢印の部位に適したグレーシータイプキュレットはどれか。

- a # 1/2
- b # 3/4
- c # 11/12
- d # 13/14

別冊 午前 No.22

選択肢考察 答え c



矢印の部位は下顎左側第一大臼歯遠心根の近心面である

- × a、× b # 1/2 および # 3/4 は前歯部に用いる。
- c 矢印の部位は下顎左側第一大臼歯遠心根の近心面である。臼歯部の近心面には # 11/12 のグレーシータイプキュレットが適している。
- × d # 13/14 は臼歯部の遠心面に適する。

(問題 78) 歯面研磨材の研磨成分はどれか。2 つ選べ。

- a シリカ
- b グリセリン
- c カラギーナン
- d 炭酸カルシウム

選択肢考察 答え a d

- a 歯面研磨材の研磨成分としてシリカが用いられる。
- × b グリセリンは歯磨剤の保湿剤としての成分である。
- × c カラギーナンは歯磨剤の結合剤としての成分である。
- d 歯面研磨材の研磨成分として炭酸カルシウムが用いられる。

(問題 79) 初診時と歯周基本治療後のアタッチメントレベルとプロービングデプスの結果を表に示す。

初診時			歯周基本治療後		
AL(mm)	4	3	AL(mm)	3	3
PD(mm)	3	3	PD(mm)	2	2
歯種	11	21	歯種	11	21
	41	31		41	31
PD(mm)	4	4	PD(mm)	2	2
AL(mm)	4	4	AL(mm)	4	3

付着の獲得が認められたのはどれか。2 つ選べ。

- a 11
- b 21
- c 31
- d 41

選択肢考察 答え a c

- a、○ c 付着の獲得が生じるとアタッチメントレベルが減少する。したがって、歯周基本治療によって付着の獲得が認められたのは、治療後にアタッチメントレベルが減少した 11 と 31 である。
- × b × d 21 と 41 は治療前後でアタッチメントレベルに変化がないため、付着の獲得は認められない。

(問題 80) OHI の Debris Score (DS) の結果と OHI-S の DI-S 集計表を示す。

上顎	DS	歯種別													
		3	2	1	1	0	0	1	0	0	1	1	1	2	3
		7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7
下顎	DS	歯種別													
		2	1	0	0	0	1	3	2	1	1	0	0	2	1
		3	2	1	0 <td>0<td>1<td>0<td>0<td>1<td>0<td>1<td>0<td>2<td>1 </td></td></td></td></td></td></td></td></td></td>	0 <td>1<td>0<td>0<td>1<td>0<td>1<td>0<td>2<td>1 </td></td></td></td></td></td></td></td></td>	1 <td>0<td>0<td>1<td>0<td>1<td>0<td>2<td>1 </td></td></td></td></td></td></td></td>	0 <td>0<td>1<td>0<td>1<td>0<td>2<td>1 </td></td></td></td></td></td></td>	0 <td>1<td>0<td>1<td>0<td>2<td>1 </td></td></td></td></td></td>	1 <td>0<td>1<td>0<td>2<td>1 </td></td></td></td></td>	0 <td>1<td>0<td>2<td>1 </td></td></td></td>	1 <td>0<td>2<td>1 </td></td></td>	0 <td>2<td>1 </td></td>	2 <td>1 </td>	1

上顎	右臼歯部				左臼歯部				計
	3	1	1	4	3	1	1	5	
臼歯部	3	0	1	4	3	1	1	5	計
舌側	2	1	0	3	1	1	0	2	計
舌側	2	0	1	3	1	1	0	2	計

集計表で正しいのはどれか。

- a ① b ② c ③ d ④

選択肢考察 答え d

- × a、× b、× c、○ d
- OHI-S (DI-S、CI-S) の診査対象部位は  $\frac{6}{6} | \frac{6}{16}$  であり、OHI とは異なり 6/16 については舌側を、そのほかの部位については頬側を診査する。よって、集計表で正しいのは④である。



(問題 91) ある市の保健センターで行った 1 歳 6 か月児歯科健康診査におけるう蝕罹患型の内訳を表に示す。

- う蝕を有する者の割合はどれか。
- a 10%
- b 20%
- c 30%
- d 40%

罹患型	人数(人)
O <sub>1</sub> 型	72
O <sub>2</sub> 型	24
A型	12
B型	10
C型	2
計	120

選択肢考察 答え b

× a、○ b、× c、× d  
 1 歳 6 か月児歯科健康診査でう蝕を有する者はう蝕罹患型 A 型、B 型、C 型の者である。う蝕を有する者 = 12 + 10 + 2 = 24 人。う蝕を有する者の割合 = 24/120 × 100 = 20%。う蝕を有する者の割合は 20% である。

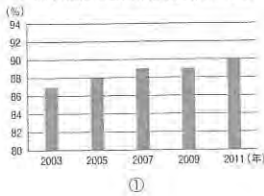
(問題 92) 歯科衛生教育活動に用いる媒体 (別冊午前 No.28) を別に示す。

- 利用する媒体と対象者の組合せで適切なものはどれか。2 つ選べ。
- a ① ——— 小学校 1 年の児童
- b ② ——— 保育園児の保護者
- c ③ ——— 幼稚園児
- d ④ ——— 中学校 1 年の生徒

別冊 午前 No.28

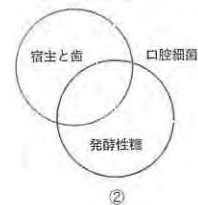
選択肢考察 答え b d

フッ化物配合歯磨剤の市場占有率の推移



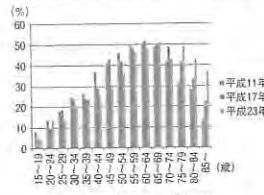
①

う蝕の要因



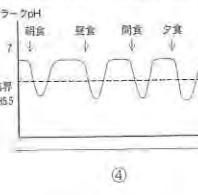
②

4mm以上の歯周ポケットを有する者の割合



③

食後のプラークpHの変化



④

- × a、× c 小学校 1 年の児童や幼稚園児に対して棒グラフ (①、③) は適切ではない。
- b 保育園児の保護者に対して利用する媒体 (②) として適切である。
- d 中学校 1 年の生徒に対して利用する媒体 (④) として適切である。

(問題 93) 摂食嚥下障害の問接訓練として行うガムラビングで正しいのはどれか。

- a 上下の歯は咬合させる。
- b 出てきた唾液は最後まで嚥下しないよう指示する。
- c 臼歯部から前歯部に向かって歯頸部歯肉をこする。
- d 3 秒に 1 往復程度の速さで行う。

選択肢考察 答え a

- a ガムラビングでは上下の歯は咬合させる。
- × b ガムラビングでは出てきた唾液は嚥下させる。
- × c ガムラビングは前歯部から臼歯部に向かってリズミカルに歯頸部歯肉をこする。
- × d ガムラビングは 1 秒に 2 往復程度の速さで行う。

(問題 94) 5 年間の保管が規定されているのはどれか。2 つ選べ。

- a 診療録
- b 歯科技工指示書
- c 産業廃棄物管理票
- d 歯科衛生士業務記録

選択肢考察 答え a c

- a 診療録は歯科医師法で 5 年間の保管が規定されている。
- × b 歯科技工指示書は歯科技工士法で 2 年間の保管が規定されている。
- c 産業廃棄物管理票 (マニフェスト) は 5 年間の保管が義務づけられており、前年度に交付したマニフェストに関する報告書を作成し、都道府県知事に提出する。
- × d 歯科衛生士業務記録は歯科衛生士法で 3 年間の保管が規定されている。

(問題 95) 歯を切削できるのはどれか。

- a CO<sub>2</sub> レーザー
- b 半導体レーザー
- c Er:YAG レーザー
- d Nd:YAG レーザー

選択肢考察 答え c

- × a CO<sub>2</sub> レーザーの用途は軟組織切開、止血、粘膜炎患などの広範囲な蒸散である。
- × b 半導体レーザーの用途は軟組織切開、知覚過敏緩和、止血、凝固である。
- c Er:YAG レーザーの用途は硬組織切削 (窩洞形成)、歯石除去、軟組織切開、根面の消毒である。
- × d Nd:YAG レーザーの用途は軟組織切開、軟化象牙質除去である。

(問題 96) 56 歳の男性。感染症についての既往は不明である。診療後に、歯科衛生士が使用済みの注射針を誤って左手指に刺してしまい、出血を認めた。歯科衛生士は B 型肝炎ワクチンを接種しており HBs 抗体を持っている。直ちに行うのはどれか。

- a 院長に報告する。
- b アルコールで指を清拭する。
- c 大量の流水で十分に洗い流す。
- d 患者に血液検査をお願いする。

選択肢考察 答え c

- × a、○ c 大量の流水で十分に洗い流した後、院長に報告する。
- × b アルコールで指を清拭しても無意味である。

× d この段階で患者に血液検査をお願いすることはない。

(問題 97) アルジネートを用いた印象体を次亜塩素酸ナトリウムで消毒する場合の濃度と浸漬時間の組合せで正しいのはどれか。

- a 0.01% ——— 30 分
- b 0.5% ——— 20 分
- c 5.0% ——— 10 分
- d 10.0% ——— 5 分

選択肢考察 答え b

- × a、○ b、× c、× d  
 アルジネート印象材や寒天印象材で印象採得した場合、まず印象体を 120 秒以上水洗する。その後、0.1 ~ 1.0% 次亜塩素酸ナトリウム溶液に 15 ~ 30 分間浸漬する。この条件に該当するのは、0.5% 次亜塩素酸ナトリウム溶液に 20 分間浸漬する選択肢 b である。

(問題 98) レジンインレー窩洞の仮封材として適切なものはどれか。2 つ選べ。

- a ストッピング
- b 水硬性セメント
- c 水酸化カルシウム製剤
- d 酸化亜鉛ユーージノールセメント

選択肢考察 答え a b

- a ストッピングはレジンインレー窩洞の仮封材として適切である。
- b 水硬性セメントはレジンインレー窩洞の仮封材として適切である。
- × c 水酸化カルシウム製剤は仮封材ではなく、覆髄や根管粘薬の際に用いられる。
- × d 酸化亜鉛ユーージノールセメントにはレジンの硬化阻害作用があるので、仮封材として不適切である。

(問題 99) 器具の写真 (別冊午前 No.29) を別に示す。使用に際し、歯と窩洞の組合せで正しいのはどれか。

- a 上顎小臼歯 ——— I 級
- b 下顎大臼歯 ——— II 級
- c 上顎犬歯 ——— III 級
- d 下顎中切歯 ——— V 級

別冊 午前 No.29

選択肢考察 答え c



アイボリー型の歯間分離器 (セパレータ)

- × a、× b、○ c、× d  
 写真は、アイボリー型の歯間分離器 (セパレータ) である。これは前歯部用の歯間分離器なので、前歯部の III 級窩洞で使用する。

(問題 100) コンボジットレジン修復のシェードテイキングの留意点はどれか。2 つ選べ。

- a 白色室内灯下で行う。
- b 患歯と隣在歯を濡らす。
- c シェードガイドを濡らす。
- d ラバーダム装着後に行う。

選択肢考察 答え b c

- × a 白色室内灯下ではなく、自然光下で行う。
- b 乾燥状態ではなく、患歯と隣在歯を濡らした状態で行う。
- c 乾燥状態ではなく、シェードガイドを濡らした状態で行う。
- × d ラバーダム装着後に行うと、隣在歯とのシェード (色調) の比較ができない。

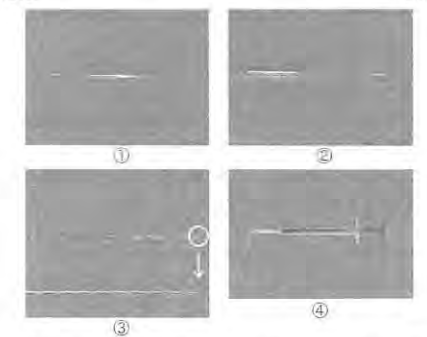
(問題 101) 直接抜髄法に使用する器具の写真 (別冊午前 No.30) を別に示す。

根管内歯髓の除去に使用するものはどれか。2 つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

別冊 午前 No.30

選択肢考察 答え a c



- a ①はリーマーである。歯髓の除去、根管拡大に使用する。
- × b ②はゲイツグリテンドリルである。根管口拡大、根管拡大に使用する。
- c ③はクレンザー (抜髄針) である。歯髓の除去に使用する。
- × d ④はミニウムシリンジである。根管洗浄に使用する。

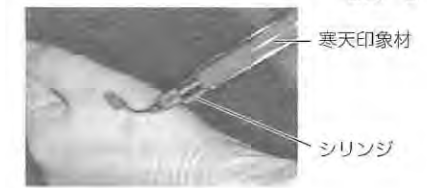
(問題 102) 下顎大臼歯の II 級メタルインレー窩洞の連合印象採得を行うことになった。印象材の準備を行っている写真 (別冊午前 No.31) を別に示す。

この後に使用する印象材はどれか。

- a 石膏
- b アルジネート
- c シリコンラバー
- d 酸化亜鉛ユーージノール

別冊 午前 No.31

選択肢考察 答え b



× a、○ b、× c、× d

写真は寒天印象材の硬さ、温度などを確認しているところである。寒天印象材と連合印象採得するのはアルジネート印象材である。

(問題 103) 部分床義歯の咬合床の写真(別冊午前 No.32)を別に示す。

矢印が示す材料はどれか。

- a 常温重合レジン
- b トレーコンパウンド
- c モデリングコンパウンド
- d ユーティリティワックス

別冊 午前 No.32

選択肢考察

答え a



咬合床

- a 矢印が示しているのは、咬合床の基礎床部分である。基礎床は常温重合レジンで製作される。
- × b トレーコンパウンドは筋圧形成時に個人トレーの辺縁に盛るコンパウンド印象材のことである。
- × c モデリングコンパウンドは無歯顎患者の概形印象採得時に使用するコンパウンド印象材のことである。
- × d ユーティリティワックスは既製トレーの周縁の調整のために使用するワックスである。

(問題 104) 膿瘍切開後にドレーンを使用する目的はどれか。

- a 止血
- b 鎮痛
- c 膿汁排出
- d 感染防止

選択肢考察

答え c

- × a 止血のために使用するのは酸化セルロースなどの止血剤である。
- × b、× d ドレーンを使用しても鎮痛や感染防止などの効果はない。
- c 膿瘍切開後にドレーンを使用すると、切開した創が閉鎖せず、膿汁を排出させることができる。

(問題 105) 28 歳の女性。下顎左側第三大臼歯の抜歯を行った。帰宅後に抜歯窩からの出血が止まらないため再度来院した。診察の結果、止血処置を行うことになった。

準備するのはどれか。2つ選べ。

- a 骨蠟
- b 骨バー
- c 骨ヤスリ
- d ゼラチンスポンジ

選択肢考察

答え a d

- a 骨蠟(ボーンワックス)は抜歯窩内からの出血がある場合に使用する。
- × b、× c 骨バー、骨ヤスリは骨を削除する際に使用する。
- d ゼラチンスポンジは酸化セルロースと同じく局所止血剤の1つである。

(問題 106) 矯正歯科治療における顔面写真の撮影で正しいのはどれか。

- a 口角鉤を使用する。
- b 開口状態で撮影する。
- c 眼耳平面を床と平行にする。
- d カメラレンズの高さを口の高さに合わせる。

選択肢考察

答え c

- × a 口角鉤を使用するのは、口腔内写真の撮影時である。
- × b 開口状態で撮影することはない。
- c 水平基準平面である眼耳平面(フランクフルト平面)を床と平行にする。
- × d カメラレンズの高さを目の高さに合わせる。

(問題 107) 舌小帯切除術を行う際に準備する器具はどれか。2つ選べ。

- a 鋭匙
- b 尖刃刀
- c 扁平鉤
- d モスキート鉗子

選択肢考察

答え b d

- × a 鋭匙は不良肉芽組織を除去するために使用するので、抜歯の際に準備する器具である。
- b、○ d 舌小帯切除術では、基本セット、局所麻酔用器具一式、替刃メス、尖刃刀(No.11)、マーカンドー型ピンセット(有鉤、無鉤)、モスキート鉗子(止血鉗子)、縫合用器具一式、剪刀などを準備する。
- × c 扁平鉤は使用しない。

(問題 108) 口腔機能訓練時の写真(別冊午前 No.33A、B)を別に示す。

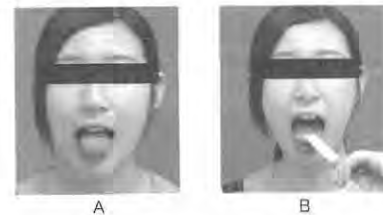
この訓練はどれか。2つ選べ。

- a 開口訓練
- b 咳嗽訓練
- c 筋機能訓練
- d ROM(可動域)訓練

別冊 午前 No.33A、B

選択肢考察

答え c d



A

B

- × a 開口訓練は顎関節症など開口障害が認められる場合に行う。
- × b 咳嗽訓練は咳がうまく出ないときや口腔や喉に違和感がある場合に、咳をしたくてもできない場合に行う。咳嗽訓練には自発的な咳ができるように習慣化させる目的がある。
- c 写真 B は舌の筋機能訓練を行っているところである。
- d 写真 A は舌の ROM(可動域)訓練を行っているところである。

(問題 109) 8 歳の女児。脳性麻痺と診断されている。摂食嚥下障害を主訴として来院した。診察の結果、呼吸と嚥下機能の協調不全による誤嚥や窒息の危険性があり、過開口、咬反射、丸飲み込み及び食べこぼし等の症状がみられた。

摂食機能療法を行うにあたり必要な対応はどれか。2つ選べ。

- a 食形態の確認をする。
- b 安定した摂食姿勢を確保する。
- c 食前にアイスマッサージを行う。
- d 摂食中は血圧のモニタリングを行う。

選択肢考察

答え a b

- a 脳性麻痺児は、口腔諸器官の強い緊張あるいは低緊張によりバランスが崩れており、うまく食塊を形成、移送できないことがあるので、食形態の確認をする必要がある。
- b 脳性麻痺児は安定した摂食姿勢をとるのが困難なので、安定した摂食姿勢を確保する必要がある。
- × c アイスマッサージは嚥下反射の惹起が遅延している場合に有効である。
- × d 摂食中の血圧測定は特に必要ない。

(問題 110) 下顎の口内法エックス線写真撮影時の写真(別冊午前 No.34)を別に示す。

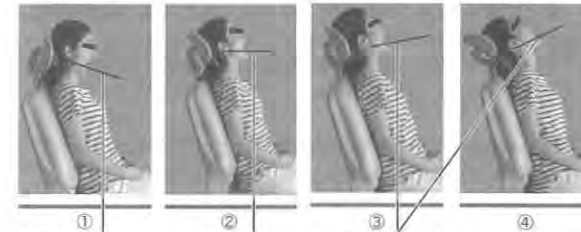
下顎の咬合平面の設定が正しいのはどれか。

- a ① b ② c ③ d ④

別冊 午前 No.34

選択肢考察

答え b



下顎の咬合平面が下を向いている ①  
 下顎の咬合平面は水平になっている ②  
 下顎の咬合平面が上を向いている ③  
 下顎咬合平面が床面 ④

× a、○ b、× c、× d

下顎の口内法エックス線写真撮影時、下顎の咬合平面は②のように水平にする。

# 解説 (午後問題)

(問題 1) 心臓の構造を図に示す。  
肺からの血液が流入するのはどれか。  
a ①  
b ②  
c ③  
d ④



**選択肢考察** **答え a**  
○ a ①は左心房で肺からの酸素に富んだ血液(動脈血)が流入する。  
× b ②は左心室であり、全身へ流出していく。これを体循環という。  
× c ③は右心室であり、肺へ流出していく。これを肺循環という。  
× d ④は右心房で全身からの酸素に乏しい血液(静脈血)が流入する。

(問題 2) 食道と胃の境界部はどれか。  
a 肝門  
b 噴門  
c 幽門  
d 肛門

**選択肢考察** **答え b**  
× a 肝門とは肝臓の方形葉と尾状葉の間の血管や神経の入り口である。  
○ b 噴門とは食道と胃の境界で胃の入口である。  
× c 幽門とは胃と十二指腸の境界で胃の出口である。  
× d 肛門とは直腸の出口である。

(問題 3) 頭蓋骨側面の写真(別冊午後 No.1)を別に示す。  
矢印の部位から起始するのはどれか。  
a 咬筋  
b 側頭筋  
c 内側翼突筋  
d 外側翼突筋

別冊 午後 No.1



○ a 矢印は頰骨弓で、咬筋の起始部である。  
× b 側頭筋の起始部は側頭窩である。  
× c 内側翼突筋の起始部は蝶形骨の翼突窩である。  
× d 外側翼突筋の起始部は蝶形骨の翼状突起外側板である。

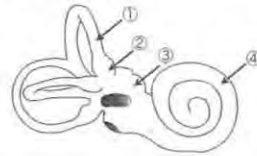
(問題 4) 歯と歯周組織の両者に属するのはどれか。  
a 歯髄  
b 象牙質  
c 歯根膜  
d セメント質

**選択肢考察** **答え d**  
× a 歯髄は歯に属する。  
× b 象牙質は歯に属する。  
× c 歯根膜は歯周組織に属する。  
○ d セメント質は歯と歯周組織の両者に属する。

(問題 5) O型血液で正しいのはどれか。  
抗A抗体 抗B抗体  
a あり あり  
b なし あり  
c あり なし  
d なし なし

**選択肢考察** **答え a**  
○ a 抗A抗体(α凝集素)があり、抗B抗体(β凝集素)があるのがO型である。  
× b 抗A抗体(α凝集素)がなく、抗B抗体(β凝集素)があるのがA型である。  
× c 抗A抗体(α凝集素)があり、抗B抗体(β凝集素)がないのがB型である。  
× d 抗A抗体(α凝集素)がなく、抗B抗体(β凝集素)がないのがAB型である。

(問題 6) 内耳を図に示す。  
内部に聴覚の受容器があるのはどれか。  
a ①  
b ②  
c ③  
d ④



**選択肢考察** **答え d**  
× a ①は前半規管である。平衡感覚が感受される。  
× b ②は半規管の膨大部である。平衡感覚が感受される。  
× c ③は平衡斑である。平衡感覚が感受される。  
○ d ④は蝸牛で、ラセン器が聴覚の受容器である。

(問題 7) 破骨細胞の活性を抑制するのはどれか。  
a カルシトニン  
b パソプレッシン  
c 活性型ビタミンD  
d 副甲状腺ホルモン

**選択肢考察** **答え a**  
○ a カルシトニンは血中カルシウム濃度を低下させるホルモンで、破骨細胞の活性を抑制するはたらきがある。  
× b パソプレッシン(抗利尿ホルモン)は、水分の再吸収を促進するはたらきがある。  
× c 活性型ビタミンDは血中カルシウム濃度を上昇させるホルモンで、破骨細胞の活性を促進するはたらきがある。

× d 副甲状腺ホルモン(上皮小体ホルモン)は血中カルシウム濃度を上昇させるホルモンで、破骨細胞の活性を促進するはたらきがある。

(問題 8) □に入るのはどれか。  
下肢静脈内の血栓が血流により運ばれると、□に塞栓症を起こしやすい。  
a 脳  
b 肝  
c 肺  
d 腎

**選択肢考察** **答え c**  
× a、× b、○ c、× d  
血管内の異物(塞栓)が血管を閉塞することを塞栓症といい、塞栓で最も多いのが血栓である。下肢静脈内の血栓が血流により運ばれると、肺に塞栓症を起こしやすいといわれている。

(問題 9) 磨耗症の小臼歯の断面図を示す。  
矢印で示す灰色部の硬組織はどれか。  
a 象牙質橋  
b 原生象牙質  
c 第二象牙質  
d 第三象牙質



**選択肢考察** **答え d**  
× a 象牙質橋(デンチンブリッジ)とは、歯髄切断法で切断歯髄面に形成される象牙質のことである。  
× b 原生象牙質は萌出してから歯根が完成するまでに形成される。  
× c 第二象牙質(生理的象牙質)は、咬合による機械的作用、軽微な温度的、化学的作用やその他の生理的刺激によって形成される。  
○ d 第三象牙質(病的象牙質)は咬耗、摩耗、う蝕、窩洞形成などの刺激によって形成される。図は摩耗によって形成されているので第三象牙質である。

(問題 10) 軟組織に発生する嚢胞はどれか。  
a 歯根嚢胞  
b 萌出嚢胞  
c 含歯性嚢胞  
d 鼻口蓋管嚢胞

**選択肢考察** **答え b**  
× a 歯根嚢胞は重層扁平上皮で裏装された肉芽組織ならびに線維性結合組織よりなる嚢胞で、失活歯に生じる。根尖部に境界明瞭な類円形のエックス線透過像を示す嚢胞で顎骨内に生じる。  
○ b 萌出嚢胞は萌出周近の乳歯の歯肉に出現する。つまり、軟組織に発生する嚢胞である。  
× c 含歯性嚢胞は歯冠形成終了後に退縮エナメル上皮に嚢胞化が生じたもので、嚢胞内に埋伏歯を含む。顎骨内に生じる嚢胞である。  
× d 鼻口蓋管嚢胞(切歯管嚢胞)は胎生期の鼻口蓋管の残遺上皮から発生したもので、上顎左右中切歯間に発生し、歯根が離開することもある。ハート型のエックス線透過像を示す嚢胞で顎骨内に生じる。

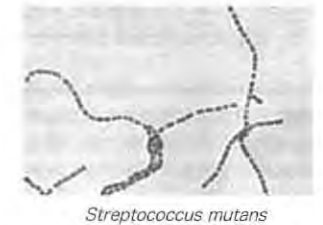
(問題 11) アナフィラキシー型アレルギーの発現に関与するのはどれか。  
a IgA  
b IgE  
c IgG  
d IgM

**選択肢考察** **答え b**  
× a IgAには血清型と分泌型がある。唾液や母乳などに含まれる。  
○ b IgEはアナフィラキシー型アレルギー(Ⅰ型アレルギー)に関与する。肥満細胞や好塩基球に結合する。  
× c IgGは血清抗体の主体で、胎盤通過性がある。  
× d IgMは抗原刺激後すぐに産生され、5量体を形成される。

(問題 12) 口腔内細菌のグラム染色像(別冊午後 No.2)を別に示す。  
考えられるのはどれか。  
a *Treponema denticola*  
b *Streptococcus mutans*  
c *Actinomyces naeslundii*  
d *Porphyromonas gingivalis*

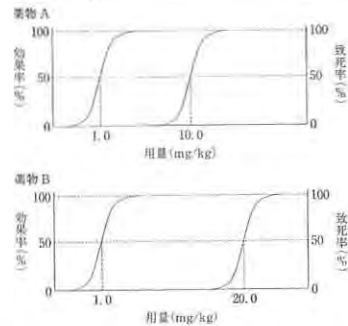
別冊 午後 No.2

**選択肢考察** **答え b**



× a *Treponema denticola*はスピロヘータの1つで、鞭毛があり、運動性を示すらせん状菌である。  
○ b グラム染色像からグラム陽性のレンサ球菌と判断できるので、*Streptococcus mutans*と考えられる。  
× c *Actinomyces naeslundii*は放線菌属の1つである。  
× d *Porphyromonas gingivalis*はグラム陰性桿菌で、歯周病の原因菌の1つである。

(問題 13) 薬物 A と薬物 B の用量有効率曲線と用量致死率曲線およびそれぞれの 50%有効量と 50%致死量を図に示す。用量を対数で表示する。



薬物 A と薬物 B の安全性を表す安全域 A と安全域 B の関係で正しいのはどれか。

- a 安全域 A は安全域 B の 1/4 である。
b 安全域 A は安全域 B の 1/2 である。
c 安全域 A は安全域 B の 2 倍である。
d 安全域 A は安全域 B の 4 倍である。

選択肢考察 答え b

安全域 (治療係数) は 50%致死量 (LD50) / 50%有効量 (ED50) で表される。安全域 A = 10/1.0 = 10、安全域 B = 20/1.0 = 20 したがって、安全域 A は安全域 B の 1/2 である。

(問題 14) 歯痛にジクロフェナクナトリウムを投与した。該当する薬物療法はどれか。

- a 原因療法
b 対症療法
c 補充療法
d 予防療法

選択肢考察 答え b

抗炎症薬は原因療法として用いられる。ジクロフェナクナトリウムなどの抗炎症薬 (消炎鎮痛薬) は対症療法として用いられる。ビタミン剤は補充療法として用いられる。ワクチンは予防療法として用いられる。

(問題 15) アナフィラキシーショックによる呼吸困難やチアノーゼに対して投与すべき薬物はどれか。

- a アスピリン
b アドレナリン
c ニフェジピン
d アセチルコリン

選択肢考察 答え b

アスピリンは酸性非ステロイド性抗炎症薬である。また、血小板凝集を抑制する作用もあるため、脳梗塞や心筋梗塞の予防薬として使用される。アドレナリンには交感神経刺激作用 (血圧上昇、心拍数増加、心収縮力増強、気管支拡張作用) があるので、アナフィラキシーショックによる呼吸困難やチアノーゼに対して投与される。ニフェジピンは血圧低下作用を有するカルシウム拮抗薬である。アセチルコリンは自律神経の神経伝達物質で、副交感神経刺激作用 (唾液分泌亢進、消化液分泌亢進、胃腸運動の亢進作用) がある。

(問題 16) 口腔細菌と病原性の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a Lactobacillus casei - 酸産生
b Streptococcus sobrinus - 毒素産生
c Fusobacterium nucleatum - グルカン合成
d Porphyromonas gingivalis - タンパク分解酵素産生

選択肢考察 答え a d

Lactobacillus casei は乳酸桿菌で、乳酸を産生することによりう蝕の進行に関与している。Streptococcus sobrinus はレンサ球菌で、Streptococcus mutans とともにう蝕の原因菌であるが、毒素産生は行わない。Fusobacterium nucleatum はグラム陰性偏性嫌気性桿菌で、壊死性潰瘍性歯肉 (周) 炎の原因菌であるが、グルカンの合成は行わない。グルカン合成は Streptococcus mutans の特徴である。Porphyromonas gingivalis は黒色色素産生性偏性嫌気性桿菌で、タンパク分解酵素 (トリプシン様プロテアーゼ) を産生することにより歯周病に関与している。

(問題 17) 家庭用品品質表示法に規定されている歯ブラシの表示内容はどれか。2つ選べ。

- a 植毛数
b 柄の長さ
c 柄の材質
d 毛の硬さ

選択肢考察 答え c d

「家庭用品品質表示法」に規定されている歯ブラシのパッケージに表示が義務づけられている項目は、柄の材質、毛の硬さ、毛の材質、耐熱温度である。

(問題 18) 歯磨剤の薬効成分で、う蝕予防と歯周病予防の両方の機能が期待できるのはどれか。

- a 乳酸アルミニウム
b ピロリン酸ナトリウム
c ベンゼトニウム塩化物
d グリチルリチン酸二カルcium

選択肢考察 答え c

乳酸アルミニウムは知覚過敏抑制を目的に配合された歯磨剤の薬効成分である。ピロリン酸ナトリウムは歯石沈着防止を目的に配合された歯磨剤の薬効成分である。ベンゼトニウム塩化物は殺菌を目的に配合された歯磨剤の薬効成分であり、う蝕予防と歯周病予防の両方の機能が期待できる。グリチルリチン酸二カルciumは歯周病の消炎を目的に配合された歯磨剤の薬効成分である。

(問題 19) う蝕リスクを高めるのはどれか。

- a リパーゼ
b デキストラナーゼ
c ペルオキシダーゼ
d グルコシルトランスフェラーゼ

選択肢考察 答え d

リパーゼは唾液 (小唾液腺) や腭液に含まれる脂質を分解する消化酵素である。デキストラナーゼは水溶性グルカンを分解する酵素である。ペルオキシダーゼは唾液に含まれる酵素的抗菌因子である。グルコシルトランスフェラーゼは Streptococcus mutans が産生する酵素で、スクロースを基質として不溶性グルカンを合成するため、う蝕リスクが高まる。

(問題 20) フッ化物応用法と使用薬剤の組合せで正しいのはどれか。

- a 洗口剤 - APF
b 歯磨剤 - NaF
c 歯面塗布 - MFP
d 水道水フッ化物濃度調整 - SnF2

選択肢考察 答え b

洗口剤には NaF (フッ化ナトリウム) を用いる。歯磨剤には NaF や MFP (モノフルオロリン酸ナトリウム) を用いる。歯面塗布には NaF や APF (酸性フッ素リン酸)、SnF2 (フッ化スズ) を用いる。水道水フッ化物濃度調整には Na2SiF6 (ケイフッ化ナトリウム) を用いる。

(問題 21) OHI の Debris Score (DS) と Calculus Score (CS) を表に示す。

Table with 4 rows (Upper/Lower Jaw, Cheek/Lip/Tongue) and 14 columns (DS/CS values).

OHI はどれか。 a 2.0 b 2.5 c 3.0 d 3.5

選択肢考察 答え d

Debris Score (DS) 計算式: DS = (2+2+2)/3 = 2.0

Table for Calculus Score (CS) calculation: Cheek 1, Lip 1, Tongue 1, Total 3.

Calculus Score (CS) 計算式: CS = 6/6 = 1.0

よって、OHI = DS + CS = 2.5 + 1.0 = 3.5 となる。

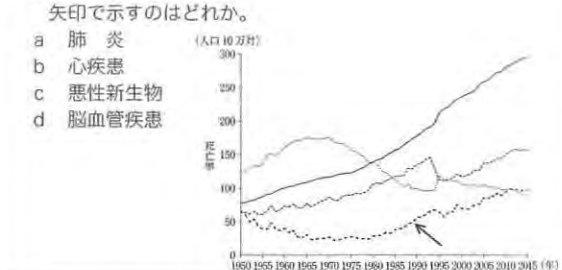
(問題 22) GI (Løe & Silness, 1963) と PDI (Ramfjord, 1959) に共通する診査対象歯はどれか。2つ選べ。

- a 1
b 2
c 4
d 6

選択肢考察 答え c d

GI (Gingival Index) の診査対象部位は 6, 2, 4, 6 で、PDI (Periodontal Disease Index) の診査対象部位は 6, 14, 6 のため、共通する診査対象部位は 4, 6 である。

(問題 23) 人口動態統計における主要死因別にみた死亡率の推移を図に示す。



選択肢考察 答え a

肺炎は我が国の死因第 3 位で、増加傾向である。心疾患は我が国の死因第 2 位で、増加傾向である。悪性新生物は我が国の死因第 1 位で、増加傾向である。脳血管疾患は我が国の死因第 4 位で、減少傾向である。

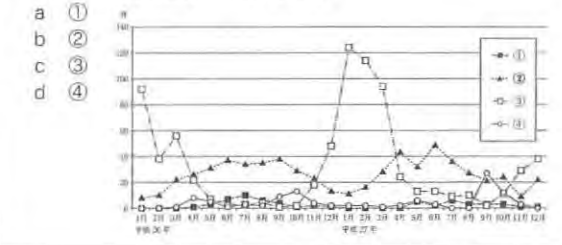
(問題 24) に入るのはどれか。

感染性廃棄物とは、医療機関等から生じ、人が感染し、もしくは感染するおそれのある (病原体) が含まれる可能性のある廃棄物をいう。病原体、危険物質、汚染物質、有害物質

選択肢考察 答え a

感染性廃棄物とは、医療機関等から生じ、人が感染し、もしくは感染するおそれのある (病原体) が含まれる可能性のある廃棄物をいう。

(問題 25) 食中毒の原因別月別発生数 (件数) を図に示す。ノロウイルスによるのはどれか。



選択肢考察 答え c

- × a ①はサルモネラ属菌である。
- × b ②はカンピロバクターである。
- c ③はノロウイルスである。我が国の食中毒の原因第 1 位はノロウイルスで、12 月ころから冬季を中心にノロウイルスによる食中毒が発生している。
- × d ④はアニサキスである。

(問題 26) 学校保健における対人管理はどれか。2 つ選べ。

- a PTA 活動
- b 学級活動
- c 健康診断
- d 感染症予防

選択肢考察 答え c d

- × a PTA 活動は学校保健における組織活動である。
- × b 学級活動は学校保健における保健教育の保健指導である。
- c 健康診断は学校保健における保健管理の対人管理である。
- d 感染症予防は学校保健における保健管理の対人管理である。

(問題 27) 職業性疾患のうち作業管理要因によるのはどれか。

- a B 型肝炎
- b 水銀中毒
- c 頸肩腕障害
- d 電離放射線障害

選択肢考察 答え c

- × a、× b、× d これらの職業性疾患は作業環境管理要因による。作業環境管理とは作業環境中のさまざまな有害要因を取り除き、適正な作業環境を確保することである。
- c 頸肩腕障害は作業管理要因による。作業管理とは有害な要因を適切に管理して、作業環境の悪化を防止し、労働者への影響を少なくすることである。

(問題 28) に入るのはどれか。

- 日本国憲法第 25 条では「国はすべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び に入るの向上及び増進に努めなければならない」と定めている。
- a 教育水準
  - b 国民所得
  - c 公衆衛生
  - d 勤労意欲

選択肢考察 答え c

- × a、× b、○ c、× d
- 日本国憲法第 25 条では「国はすべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び（公衆衛生）の向上及び増進に努めなければならない」と定めている。

(問題 29) 平成 25 年度の部門別社会保障給付費を構成割合の高い順に示す。

- 正しいのはどれか。
- a 年金 > 福祉 > 医療
  - b 医療 > 年金 > 福祉
  - c 年金 > 医療 > 福祉
  - d 医療 > 福祉 > 年金

選択肢考察 答え c

- × a、× b、○ c、× d
- 平成 25 年度の部門別社会保障給付費は、「年金」が

49.3%、「医療」が 32.0%、「福祉その他」が 18.7%である。

(問題 30) 高齢者が住み慣れた地域で自立した生活が営めるよう、医療、介護、予防、住まい及び生活支援サービスを切れ目なく提供することを目的とした仕組みはどれか。

- a 地域支援事業
- b 地域密着型サービス
- c 地域医療連携システム
- d 地域包括ケアシステム

選択肢考察 答え d

- × a 地域支援事業は、要支援・要介護になる前から介護予防の推進、地域における包括的・継続的なマネジメント機能の強化を目的として、市町村を実施主体として行われている。
- × b 地域密着型サービスは、介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で暮らしていけるように、市町村指定の事業者が地域住民に提供するサービスである。
- × c 地域医療連携システムは、医療分野の総合的な連携を推進し、とくに在宅医療ネットワークを構築・整備することを中心としている。
- d 地域包括ケアシステムは、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活が営めるよう、医療、介護、予防、住まい及び生活支援サービスを切れ目なく提供することを目的としている。

(問題 31) 血清カルシウム濃度の恒常性維持において、活性型ビタミン D が作用するのはどれか。2 つ選べ。

- a 骨
- b 小腸
- c 肝臓
- d 皮膚

選択肢考察 答え a b

- a、○ b 血清カルシウム濃度の恒常性維持において、活性型ビタミン D の作用は血清カルシウム濃度を上昇させることであり、標的器官は骨と小腸である。副甲状腺や腎臓にも作用する。
- × c 肝臓では 25-水酸化酵素によってビタミン D<sub>2</sub> と D<sub>3</sub> の 25 位が水酸化される。その後、腎臓で 1 α-水酸化酵素によって 1 α 位が水酸化されることで活性型ビタミン D が産生される。
- × d 皮膚の表皮細胞で紫外線照射によってプロビタミン D<sub>2</sub> と D<sub>3</sub> からビタミン D<sub>2</sub> と D<sub>3</sub> が産生される。

(問題 32) 食事バランスガイドで示されていないのはどれか。

- a 食塩
- b 水分
- c 運動
- d 嗜好飲料

選択肢考察 答え a

- × a 食塩は食事バランスガイドで示されていない。
- b、○ c、○ d 水分や運動、嗜好飲料は食事バランスガイドで示されている。

(問題 33) 医療現場におけるインシデント報告書の目的はどれか。2 つ選べ。

- a 勤務評定
- b 保健所への報告
- c メタ認知能力の育成
- d 事故発生リスクの分析

選択肢考察 答え c d

- × a、× b 勤務評定や保健所への報告は医療現場におけるインシデント報告書の目的ではない。
- c メタ認知能力（自分自身の認知行動を把握することができる能力）の育成は医療現場におけるインシデント報告書の目的である。
- d 事故発生リスクの分析は医療現場におけるインシデント報告書の目的である。

(問題 34) 運動負荷心電図検査で自転車をこぐことで負荷を与えるのはどれか。

- a エルゴメータ
- b トレッドミル
- c スパイログラム
- d パルスオキシメータ

選択肢考察 答え a

- a エルゴメータとは、実際に運動をしているのと同じ負荷をかけて、体カトレーニングや体力測定を行う器具で、自転車のペダル踏み装置はこれに該当する。
- × b トレッドミルとは、屋内でランニングやウォーキングを行うための健康器具である。ルームランナー、ランニングマシンやジョギングマシンともよばれる。
- × c スパイログラムとは、スパイロメータによって測定され記録したグラフのことである。スパイロメータでは、肺活量、1 回換気量、予備吸気量などが測定できる。
- × d パルスオキシメータとは、経皮的動脈血酸素飽和度を計測する装置である。

(問題 35) 細菌感染が疑われる患者のスクリーニング検査で指標となるのはどれか。2 つ選べ。

- a CRP 値
- b 赤血球数
- c 白血球数
- d 血小板数

選択肢考察 答え a c

- a CRP（C 反応性タンパク）は炎症、感染症、梗塞などで組織が破壊されているときに血液中に増加するタンパク質である。基準値は 0.2mg/dL 以下である。高値を示すのは、感染症、急性炎症、膠原病、悪性腫瘍、心筋梗塞などである。
- × b 赤血球数は貧血のスクリーニング検査項目の 1 つである。
- c 白血球数は炎症や感染症のとき増加する。
- × d 血小板数は出血性素因のスクリーニング検査項目の 1 つである。

(問題 36) 根管洗浄用プラスチックシリンジの感染予防対策で有効なのはどれか。

- a 薬液消毒
- b 乾熱滅菌
- c 紫外線消毒
- d 低温プラズマ滅菌

選択肢考察 答え d

- × a 薬液消毒よりも滅菌のほうが感染予防対策としては有効である。
- × b 熱に弱いプラスチック製品に対して乾熱滅菌を行うことはできない。
- × c 紫外線消毒よりも滅菌のほうが感染予防対策としては有効である。
- d 熱処理に耐えられないものは、EOG 滅菌、低温プラズマ滅菌を行う。

(問題 37) 35 歳の女性。歯の変色を主訴として来院した。歯の萌出直後から気付いていたが放置していたという。初診時の口腔内写真（別冊午後 No.3）を別に示す。

- 考えられるのはどれか。
- a 色素沈着
  - b 歯髄壊死
  - c 抗菌薬の副作用
  - d フッ化物の過剰摂取

別冊 午後 No.3

選択肢考察 答え c



全顎的に帯状の変色がみられる

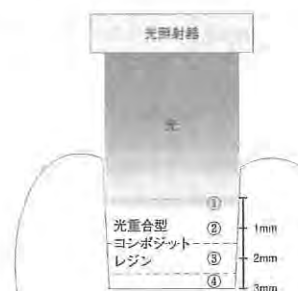
- × a 全顎的に帯状の変色がみられるため、色素沈着は考えられない。
- × b 歯髄壊死が全顎的に生じているとは考えにくい。
- c 歯が帯状に連なるように変色しているため、抗菌薬であるテトラサイクリンの副作用が考えられる。
- × d フッ化物の過剰摂取では歯のフッ素症となりチョーク様白斑が生じる。

(問題 38) 形成窩洞内に充填した光重合型コンポジットレジンと光照射器の位置関係の図（別冊午後 No.4）を別に示す。重合率が最も高いのはどれか。

- a ① b ② c ③ d ④

別冊 午後 No.4

選択肢考察 答え b



- × a、○ b、× c、× d
- 光重合型コンポジットレジンに光が重なり、光が届かない



(問題 49) 46 歳の女性。右舌縁部の異常を訴えて来院した。2 週前に鏡で見たところ、舌縁部の変色に気付いたという。直径約 15mm の弾性軟の腫瘤を認め、ガラス圧診法により病変部の退色が認められた。口腔内写真 (別冊午後 No.8) を別に示す。

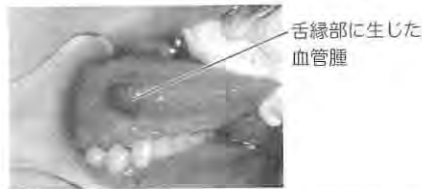
考えられるのはどれか。

- a 血管腫
- b 線維腫
- c 乳頭腫
- d リンパ管腫

別冊 午後 No.8

選択肢考察

答え a



- a ガラス圧診法により病変部の退色が認められたことから血管腫と考えられる。血管組織からなる良性腫瘍で過誤腫も多い。舌、頬粘膜、口唇などにみられる。
- × b 線維腫は良性の線維性結合組織の増殖性病変で、膠原線維と線維芽細胞からなる。舌、頬粘膜、歯肉頬移行部などにみられる。
- × c 乳頭腫は乳頭状、有茎状増殖物で、粘膜色あるいは白色の上皮性良性腫瘍である。舌、口蓋、頬粘膜、歯肉にみられる。
- × d リンパ管腫はリンパ管の増殖からなる良性腫瘍で過誤腫も多い。舌、頬粘膜、口唇などにみられる。

(問題 50) 28 歳の男性。術後処置のため来院した。7 日前に下顎左側水平埋伏智歯の抜歯術を受け、術後経過に異常はなかったという。創部の状態は良好で、抜糸をすることになった。器具の写真 (別冊午後 No.9) を別に示す。

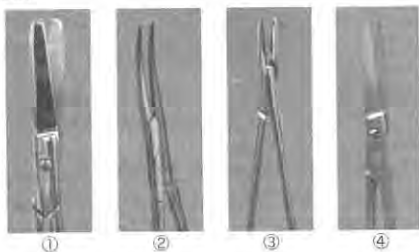
準備するのはどれか。

- a ① b ② c ③ d ④

別冊 午後 No.9

選択肢考察

答え d



- × a ①は雑用はさみである。
- × b ②は止血鉗子である。抜歯や消炎手術の際に準備する。
- × c ③は持針器である。縫合する際に準備する。
- d ④は剪刀である。抜糸をする際に使用する。

(問題 51) 38 歳の女性。下顎左側埋伏智歯の抜歯術を行うことになった。歯科治療恐怖症のため、吸入鎮静法を開始した。至適鎮静状態を確認できるのはどれか。

- a ベリルのサイン
- b マルゲーヌ圧痛
- c ニコルスキー現象
- d キューンの貧血帯

選択肢考察

答え 厚労省発表 採点除外

- × a ベリルのサインとは、眠気があり、中程度の眼瞼下垂がみられる状態のことで、静脈内鎮静法の至適鎮静状態の判定に用いられる。今回は「吸入鎮静法」だったため、「解なし」となる。問題文が「静脈内鎮静法」であれば、a が正解となる。
- × b マルゲーヌ圧痛とは、骨折線に一致した限局性の著明な圧痛のことである。
- × c ニコルスキー現象とは、水泡を形成する天疱瘡や類天疱瘡でみられる粘膜を擦過すると容易に剥離する現象のことである。
- × d キューンの貧血帯とは、上顎の伝達麻酔後に前頬部から鼻翼にかけて時々みられる貧血帯のことである。

(問題 52) 11 歳の男児。歯並びの異常を訴えて来院した。歯ブラシが届きにくいという。初診時の口腔内写真 (別冊午後 No.10) を別に示す。

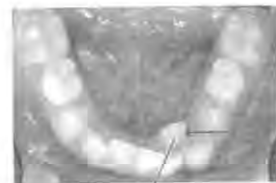
矢印が示す歯の位置異常はどれか。

- a 移転
- b 遠心捻転
- c 唇側傾斜
- d 舌側転位

別冊 午後 No.10

選択肢考察

答え d



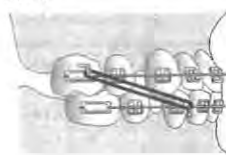
下顎左側側切歯が舌側に転位している

- × a 移転とは、隣在歯と萌出位置が入れ替わっている状態である。
- × b 遠心捻転とは、歯が長軸を中心に遠心方向へ回転している状態である。
- × c 唇側傾斜とは、歯軸が唇側方向へ傾いている状態である。
- d 舌側転位とは、歯が正常な位置より舌側に位置している状態であり、矢印で示す歯は舌側転位である。

(問題 53) 矯正歯科治療中の図を示す。

顎間ゴムの種類はどれか。

- a II 級ゴム
- b III 級ゴム
- c 垂直ゴム
- d 交叉ゴム



選択肢考察

答え b

- × a II 級ゴムは下顎の臼歯から上顎の前歯・犬歯に向かってかけるゴムである。
- b III 級ゴムは上顎の臼歯から下顎の前歯・犬歯に向かって

かけるゴムである。したがって、図の顎間ゴムは III 級ゴムである。

- × c 垂直ゴムは上下顎歯に垂直にかかるゴムである。
- × d 交叉ゴムは上顎頰側から下顎舌側に向かってかけるゴムである。

(問題 54) 矯正装置を装着した口腔内写真 (別冊午後 No.11) を別に示す。

装置の名称はどれか。

- a 急速拡大装置
- b タングクリップ
- c 舌側弧線装置
- d クワドヘリックス

別冊 午後 No.11

選択肢考察

答え a



急速拡大装置

- a 拡大スクリューが付与されたワイヤーが維持バンドで固定されており、急速拡大装置であると判断できる。
- × b タングクリップは舌突出を除去するクリップが存在する。
- × c 舌側弧線装置はワイヤーが舌側歯頸部に接するように屈曲されている。
- × d クワドヘリックスは拡大装置であるが、拡大スクリューは存在しない。

(問題 55) Hellman の歯齡 III A 期にみられるのはどれか。

- a 顎間空隙
- b 正中離開
- c 乳犬歯間幅径の縮小
- d リーウェイスペース閉鎖

選択肢考察

答え b

- × a 顎間空隙は Hellman の歯齡 I A 期にみられる。
- b Hellman の歯齡 III A 期では、上顎前歯萌出途中で正中離開がみられる。
- × c Hellman の歯齡 III A 期では、乳犬歯間幅径の増大がみられる。
- × d リーウェイスペースは、Hellman の歯齡 III B 期の側方歯群のスムーズな交換に役立つ。

(問題 56) 11 歳の男児。歯の形を気にして来院した。初診時の口腔内写真 (別冊午後 No.12) を別に示す。

矢印で示す形態異常はどれか。

- a 臼傍結節
- b 中心結節
- c 基底結節
- d 臼歯結節

別冊 午後 No.12

選択肢考察

答え b



下顎第二小臼歯の咬合面にみられる中心結節

- × a 臼傍結節は臼歯頰側面にみられる結節である。
- b 矢印は下顎第二小臼歯の咬合面にみられる中心結節である。
- × c 基底結節は前歯舌側にみられる結節である。
- × d 臼歯結節は下顎第一乳臼歯の頰側で発達している。

(問題 57) 4 歳の男児。う蝕の治療を希望して来院した。フッ化物歯面塗布を受けた経験はあるが、修復処置は初めてであるという。治療に協力的でスムーズに終了できたので、シールを与えた。

この対応はどれか。

- a TSD 法
- b TEACCH 法
- c レスポンスコスト法
- d トークンエコノミー法

選択肢考察

答え d

- × a TSD 法は、説明して、見せて、行う方法である。
- × b TEACCH 法は自閉症などの発達障害患者の治療に用いられる。
- × c、○ d トークンエコノミー法は良い行動をした場合にトークンを与える方法で、レスポンスコスト法は不適切な行動をした場合にトークンを取り上げる方法である。今回は、治療に協力的でスムーズに終了できた際にシール (トークン) を与えているためトークンエコノミー法である。

(問題 58) 4 歳の男児。下顎左側第二乳臼歯のう蝕治療を希望して来院した。潰瘍性歯髄炎と診断し、局所麻酔下に生活歯髄切断後、既製乳歯冠修復を行った。

診療後の保護者への説明で適切なものはどれか。2 つ選べ。

- a 口唇をよく冷やしてください。
- b すぐに食事をしてもかまいません。
- c しばらくの間ガーゼを咬ませていただきます。
- d 今日は粘着性のある食品を食べるのは控えてください。

選択肢考察

答え c d

- × a 局所麻酔を行った後に口唇をよく冷やすよう説明することはない。
- × b、○ c 局所麻酔を行っており、すぐに食事をすると咬傷を生じる可能性がある。しばらくの間ガーゼを咬ませるよう説明することは適切である。
- d 既製乳歯冠装着後であり、当日に粘着性のある食品を食べることを控えさせるのは適切である。

(問題 59) 軽度認知症の高齢者が、少人数の共同生活を営む施設はどれか。

- a ケアハウス
- b グループホーム
- c 介護老人保健施設
- d 特別養護老人ホーム

選択肢考察

答え b

- × a ケアハウスは家庭での生活が困難な高齢者が、低料金で

食事や日常生活のサポートを受けられる施設である。

○b グループホームは軽度認知症の高齢者が、少人数の共同生活を営む施設である。

×c 介護老人保健施設は症状が安定した患者が入所し、リハビリテーションを中心とするケアと日常生活上の介助を行う施設である。

×d 特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）は常時介護が必要で家庭での生活が困難な場合に入所し、日常生活上の世話や機能訓練、健康管理を行う施設である。

(問題 60) 認知症の中核症状はどれか。2つ選べ。

- a 徘徊
- b 記憶障害
- c 知的機能低下
- d 生活意欲低下

選択肢考察 答え b c

× a、× d 徘徊や生活意欲低下は認知症の周辺症状である。

○ b、○ c 記憶障害や知的機能低下は認知症の中核症状である。

(問題 61) 摂食嚥下機能のスクリーニングテスト時の写真（別冊午後 No.13）を別に示す。

- 本テストで評価するのはどれか。
- a 不顕性誤嚥の有無
  - b 嚥下時の呼吸リズム
  - c 嚥下後の咽頭部残留
  - d 嚥下の随意的な惹起能力

別冊 午後 No.13

選択肢考察 答え d



反復唾液嚥下テスト（RSST）

× a 不顕性誤嚥の有無は咳テストで評価する。

× b 嚥下時の呼吸音やリズムは頸部聴診法で評価する。

× c 嚥下後の咽頭部残留は嚥下内視鏡検査（VE）やビデオ嚥下造影法（VF）で評価する。

○ d 嚥下の随意的な惹起能力は反復唾液嚥下テスト（RSST）で評価する。

(問題 62) う蝕のリスク評価に用いるのはどれか。2つ選べ。

- a 乳酸桿菌数
- b 唾液緩衝能
- c 血清抗体価
- d 唾液潜血濃度

選択肢考察 答え a b

○ a Dentocult-LB<sup>®</sup> は唾液を検体とした乳酸桿菌数を測定するう蝕活動性試験である。

○ b Dreizen test<sup>®</sup>（乳酸滴定試験）は唾液を検体とした緩衝能を測定するう蝕活動性試験である。

× c 血清抗体価は感染の有無を評価する。

× d 唾液潜血濃度は歯周病を評価する。

(問題 63) エックス線写真（別冊午後 No.14）を別に示す。歯石が観察できるのはどれか。

- a 側切歯
- b 犬歯
- c 第一小臼歯
- d 第二小臼歯

別冊 午後 No.14

選択肢考察 答え b



犬歯に歯石が沈着している

× a、○ b、× c、× d  
エックス線写真を観察すると、歯石が沈着しているのは犬歯である。

(問題 64) 口腔内写真（別冊午後 No.15）を別に示す。観察できるのはどれか。2つ選べ。

- a 脱灰
- b 瘻孔
- c 歯肉炎
- d メラニン色素沈着

別冊 午後 No.15

選択肢考察 答え a c



エナメル質が脱灰している

乳頭歯肉の腫脹

○ a 歯面が白濁していたり粗造になっている部位が認められ、エナメル質が脱灰している。

× b 瘻孔は認められない。

○ c 乳頭歯肉が腫脹しており、歯肉炎である。

× d メラニン色素沈着は認められない。

(問題 65) う蝕の発病要因と予防処置の組合せで正しいのはどれか。

- a 細菌叢 ——— PTC
- b 歯冠形態 ——— フッ化物歯面塗布
- c 歯質結晶性 ——— 小窩裂溝充填
- d 発酵性糖質 ——— フッ化物配合歯磨剤

選択肢考察 答え a

○ a プラーク中の細菌叢はう蝕の発症要因であり、PTCによるプラークの除去が予防処置となる。

× b 歯冠形態はう蝕の発症要因となるが、フッ化物歯面塗布は歯冠形態と関係ない。

× c 歯質結晶性はう蝕の発症要因となるが、小窩裂溝充填は歯質結晶性と関係ない。

× d 発酵性糖質はう蝕の発症要因となるが、フッ化物配合歯磨剤は発酵性糖質と関係ない。

(問題 66) 患者のスクレーリング中に、手が滑って術者自身の指を切ってしまった。対処の順序を示す。

- ① グローブの撤去 → 流水下洗浄 → 傷の消毒
- ② グローブの撤去 → 傷の消毒 → 流水下洗浄
- ③ 流水下洗浄 → グローブの撤去 → 傷の消毒
- ④ 流水下洗浄 → 傷の消毒 → グローブの撤去

適切なのはどれか。

- a ① b ② c ③ d ④

選択肢考察 答え a

○ a、× b、× c、× d  
スクレーリング中に、スクレーラーで術者自身の指を切ってしまった場合には、まずグローブを撤去して傷口を流水下で洗浄した後に傷の消毒を行う。したがって、①の「グローブの撤去→流水下洗浄→傷の消毒」が適切である。

(問題 67) 歯科予防処置はどれか。

- a ブローピング
- b 機械的歯面清掃
- c ブラッシング指導
- d ルートプレーニング

選択肢考察 答え b

× a ブローピングは歯周組織の検査である。

○ b 機械的歯面清掃によって歯面の付着物・沈着物を除去することは歯科予防処置である。

× c ブラッシング指導は歯科保健指導である。

× d ルートプレーニングは歯周治療である。

(問題 68) 歯面塗布に用いるフッ化物製剤と pH の組合せで正しいのはどれか。

- a NaF 溶液 ——— 5.0
- b APF 溶液 ——— 3.5
- c APF ギル ——— 2.8
- d SnF<sub>2</sub> 溶液 ——— 7.0

選択肢考察 答え b

× a 歯面塗布に用いる NaF 溶液は中性である。

○ b、× c 歯面塗布に用いる APF 溶液の pH は 3.5 である。APF ギルは APF 溶液をギル状にしたものである。

× d 歯面塗布に用いる SnF<sub>2</sub> 溶液の pH は 2.8 付近である。

(問題 69) □に入る組合せで正しいのはどれか。

フッ化物洗口法には □① % NaF 溶液で毎日行う方法と □② % NaF 溶液で週 1 回行う方法があり、洗口用顆粒は □③ に分類される。

- |   |      |     |     |
|---|------|-----|-----|
|   | ①    | ②   | ③   |
| a | 0.01 | 0.5 | 劇薬  |
| b | 0.01 | 0.2 | 普通薬 |
| c | 0.05 | 0.2 | 劇薬  |
| d | 0.05 | 0.5 | 普通薬 |

選択肢考察 答え c

× a、× b、○ c、× d  
フッ化物洗口法には 0.05% NaF 溶液で毎日行う方法と 0.2% NaF 溶液で週 1 回行う方法があり、洗口用顆粒は劇薬に分類される。したがって、c が正しい。

(問題 70) 小窩裂溝充填に用いられるのはどれか。2つ選べ。

- a Bis-GMA 系レジン
- b カーボネート系レジン
- c カルボキシレートセメント
- d グラスアイオノマーセメント

選択肢考察 答え a d

○ a Bis-GMA 系レジンとは小窩裂溝充填材として用いられる。

× b 小窩裂溝充填材としてカーボネート系レジンとは用いられない。

× c 小窩裂溝充填材としてカルボキシレートセメントとは用いられない。

○ d グラスアイオノマーセメントは小窩裂溝充填材として用いられる。

(問題 71) 60 歳の男性。歯根の露出、冷水痛および義歯の不具合を訴えて来院した。口腔診査終了後に検査を行い、次の結果を得た。

この結果から考えられるのはどれか。

- a 口腔乾燥
- b 味覚障害
- c 重度歯周炎
- d 義歯の清掃不良

刺激唾液分泌速度	0.3 mL/min
総菌数	10 <sup>7</sup> /mL
<i>S. mutans</i> 菌数	10 <sup>9</sup> /mL
Candida 菌数	検出なし
歯肉出血(BOP)	なし
ポケット深さ(PD)	3 mm 以下

選択肢考察 答え a

○ a、× b 刺激唾液分泌速度が 0.3 mL/min とかなり低値であり、口腔乾燥が考えられる。なお、口腔乾燥によって味覚障害を生じる可能性は否定できないが、この結果から優先すべきなのは a である。

× c BOP がなく、PD は 3 mm 以下であるため、重度歯周炎は考えられない。

× d Candida 菌は検出されず、この結果から義歯の清掃不良は考えられない。

(問題 72) 慢性歯周炎と比較した場合の侵襲性歯周炎の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 老年期に発症する。
- b 組織破壊の進行が速い。
- c 水平性骨吸収が認められる。
- d 組織破壊量と比較して歯石沈着量が少ない。

選択肢考察 答え b d

× a 老年期に発症するのは、侵襲性歯周炎と比較して慢性歯周炎である。

○ b 慢性歯周炎と比較して侵襲性歯周炎では組織破壊の進行が速い。

× c 慢性歯周炎では水平性骨吸収が認められる。

○ d 侵襲性歯周炎では組織破壊量と比較して歯石沈着量が少ないのが特徴である。

(問題 73) 歯周病と双方向のリスクが考えられるのはどれか。

- a 糖尿病
- b 誤嚥性肺炎
- c 虚血性心疾患
- d 低体重児出産

選択肢考察 答え a

○ a 糖尿病は歯周病のリスク因子であり、歯周病は糖尿病の

リスク因子でもある。したがって、糖尿病は歯周病と双方向のリスクが考えられる。

- × b 歯周病は誤嚥性肺炎のリスク因子と考えられているが、双方向のリスクとしては考えられない。
- × c 歯周病は虚血性心疾患のリスク因子と考えられているが、双方向のリスクとしては考えられない。
- × d 歯周病は低体重児出産のリスク因子と考えられているが、双方向のリスクとしては考えられない。

(問題 74) メインテナンス移行の基準を満たしているのはどれか。

- a PCR30%
- b BOP 率 20%
- c 歯周ポケット 4mm 未満
- d 歯の動揺は近遠心方向 2mm 以内

選択肢考察 答え c

× a、× b、○ c、× d

メインテナンスは「治癒」となったものに対して行われる健康管理である。治癒の基準として、歯肉の炎症がない、歯周ポケットが 3mm 以下、プロービング時の出血がない、歯の動揺が生理的範囲である状態が挙げられる。したがって、選択肢のうちメインテナンス移行の基準と合致するのは c の歯周ポケット 4mm 未満である。

(問題 75) シャープニングの目的はどれか。2つ選べ。

- a 刃部の形態を変える。
- b 患者の不快感を軽減する。
- c スケーラーの摩耗を防ぐ。
- d 鋭利なカッティングエッジを作る。

選択肢考察 答え b d

× a、○ b、× c、○ d

シャープニングは刃部の形態を変えずに鋭利なカッティングエッジを作るのが目的である。鋭利なカッティングエッジを作ることにより、スケーリング・ルートプレーニングを効率よく行うことが可能で、患者の不快感を軽減することもできる。スケーラーの摩耗を防ぐことは目的ではない。

(問題 76) フッ化物歯面塗布法はどれか。2つ選べ。

- a 噴霧法
- b 綿球法
- c トレー法
- d イオン電極法

選択肢考察 答え b c

× a、○ b、○ c、× d

フッ化物歯面塗布法として、綿球・綿棒塗布法やトレー法、イオン導入法が挙げられる。したがって、b および c が正しい。

(問題 77) ユニバーサルキュレットの操作で誤っているのはどれか。

- a Pull ストロークを用いる。
- b 第 1 シャンクを歯軸と平行にして操作する。
- c 刃部内面と歯面のなす角度は 45° ~ 90° とする。
- d 挿入時は歯面と刃部内面のなす角度を 0° に近づける。

選択肢考察 答え b

○ a ユニバーサルキュレットの操作では Pull ストロークを用いる。

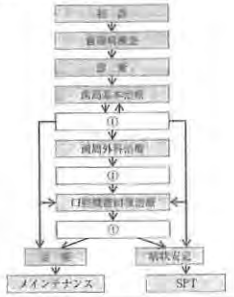
× b 第 1 シャンクを歯軸と平行にして操作するのはグレイシーキュレットの操作である。

- c ユニバーサルキュレットの刃部内面と歯面のなす角度は 45° ~ 90° とする。
- d ユニバーサルキュレット挿入時は歯面と刃部内面のなす角度を 0° に近づける。

(問題 78) 歯周治療の標準的な進め方を図に示す。

①はどれか。

- a 再評価
- b 薬物療法
- c 咬合調整
- d 口腔衛生指導



選択肢考察 答え a

- a 歯周基本治療や歯周外科治療、口腔機能回復治療が終了したら再評価を行う。
- × b 薬物療法は急性症状がある場合や歯周基本治療後の再評価で深い歯周ポケットが残存した場合などに行う。
- × c、× d 咬合調整や口腔衛生指導はまず歯周基本治療で行われる。

(問題 79) 器具の写真(別冊午後 No.16)を別に示す。

この器具で計測する2度はどれか。

- a 計測時に出血がある。
- b 頬舌的、近遠心的に 1 ~ 2mm 動く。
- c 歯肉辺縁部にプラークを確認できる。
- d 骨吸収が 1/3 以上で反対側に貫通していない。

別冊 午後 No.16

選択肢考察 答え d



ファーケーションプローブ

× a、× b、× c、○ d

ファーケーションプローブで計測する 2 度とは根分岐部病変の Lindhe&Nyman の水平的分類の 2 度のことであり、骨吸収が 1/3 以上で反対側にプローブが貫通していない状態である。計測時の出血や頬舌的、近遠心的に 1 ~ 2mm 動くこと、歯肉辺縁部のプラークには関係ない。

(問題 80) ヘルスプロモーションの概念に基づいたブラッシング指導はどれか。

- a ご自分だけでは取れない汚れもあります。
- b 残った汚れは私(歯科衛生士)が取りますね。
- c お口をしっかり開けてください、すぐに終わります。
- d 鏡を見ながら歯ブラシの当て方を確認して磨くと良いです。

選択肢考察 答え d

× a、× b、× c、○ d

ヘルスプロモーションは「人びとが自らの健康をコントロールし、改善することができるようにするプロセス」と定義されているため、「鏡を見ながら歯ブラシの当て方を確認して磨くと良いです」はヘルスプロモーションの概念に基づいたブラッシング指導である。

(問題 81) 68 歳の女性。①口の臭いが気になると訴え来院した。②5 年前に脳梗塞を発症し、左半身は麻痺があるという。③含嗽を指示すると問題なくできる。④口腔内全体にプラークと食物残渣の付着があり、舌は乾燥して舌苔もみられる。歯肉は発赤・腫脹している。

下線部分で客観的データはどれか。2つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

選択肢考察 答え c d

× a、× b ①、②は主観的データ (Subjective data) である。○ c、○ d ③、④は客観的データ (Objective data) である。

(問題 82) 口臭の原因を明らかにするために、口臭測定に加えて測定するのはどれか。2つ選べ。

- a 唾液分泌量
- b 唾液緩衝能
- c プラーク中の pH
- d プロービングデプス

選択肢考察 答え a d

○ a 唾液分泌量の低下に伴う口腔乾燥は口臭の原因となるため、口臭測定に加えて唾液分泌量を測定する。  
× b 唾液緩衝能の測定はう蝕活動性試験である。  
× c プラーク中の pH の測定はう蝕活動性試験である。  
○ d 歯周病は口臭の原因となるため、口臭測定に加えてプロービングデプスを測定する。

(問題 83) 67 歳の男性。入院中の口腔衛生管理を行うことになった。食道癌の診断で 2 週間より放射線治療と化学療法を行っており、4 日後に手術が行われるという。口腔内の評価では、う蝕や歯周病は無かったが口が渇くと訴えていた。評価時の舌の写真(別冊午後 No.17)を別に示す。

歯科衛生士が行う口腔衛生管理によって期待される効果はどれか。2つ選べ。

- a 入院期間の短縮
- b 原発病巣の縮小
- c 創部感染の予防
- d 安静時唾液の増加

別冊 午後 No.17

選択肢考察 答え a c



舌苔の付着

○ a 口腔内写真では口腔乾燥に伴い舌苔の付着がみられる。口腔内の清掃状態が悪いと誤嚥性肺炎など二次感染のリスクがあるため、歯科衛生士が行う口腔衛生管理によって入院期間が短縮する。

× b 歯科衛生士が行う口腔衛生管理を行っても原発病巣は縮小し

- ない。
- c 口腔内の清掃状態が悪いと二次感染のリスクがあるため、歯科衛生士が行う口腔衛生管理によって創部感染が予防できる。
- × d 放射線治療による口腔乾燥がみられるが、歯科衛生士が行う口腔衛生管理を行っても安静時唾液は増加しない。

(問題 84) 65 歳の男性。定期健康診査で来院した。口腔内写真(別冊午後 No.18)を別に示す。ブリッジ部にプラークの付着が認められた。保健指導を行うよう指示を受けた。

丸印で囲んだ部位の清掃に適するのはどれか。2つ選べ。

- a 歯間ブラシ
- b タフトブラシ
- c ラバーチップ
- d デンタルフロス

別冊 午後 No.18

選択肢考察 答え a b



隣接面にプラークの付着

- a 歯間ブラシは歯間部に空隙があるときの歯間清掃に使用する。
- b タフトブラシは植毛が 1 束のため、刷毛部がかなり小さく、プラークが残りやすい部位への適合がスムーズである。歯間部に空隙があるときの歯間清掃に使用する。
- × c ラバーチップは PMTC に用いる。
- × d デンタルフロスは歯間部の清掃に適しているが、歯間部に空隙があるときの歯間清掃にはあまり適していない。

(問題 85) 45 歳の女性。定期健康診査を目的に来院した。歯科保健指導は 5 回目となる。指導時の会話を以下に示す。

歯科衛生士：自宅での歯磨きはいかがですか。  
患者：教えていただいたように行っていると思います。最初 1 か月は、歯間ブラシを使うのは面倒でしたが、4 か月経ってみると、使わないとすっきりしない気がします。

歯科衛生士：歯間ブラシは毎日使っていますか。  
患者：はい。1 日 2 回、昼食後と夕食後の歯磨きの時に使用しています。職場の人にも勧められているのですよ。

歯科衛生士：それは素晴らしいです。そのまま続けていけそうですね。  
患者：はい。気持ちが良いので続けられると思います。

保健行動変容の段階はどれか。

- a 無関心期
- b 関心期
- c 準備期
- d 行動期

選択肢考察 答え d

× a 無関心期は行動変容を考えてない時期である。  
× b 関心期は行動変容に関心はあるが、すぐに行動変容するつもりはない時期である。  
× c 準備期は行動変容に関心があり、すぐに行動変容しよう

と思っている時期である。

- d 歯磨きで歯間ブラシを使用しており、使わないとすっきりしない気がするといっているため、保健行動変容の段階は行動期と考えられる。

(問題 86) 87 歳の男性。5 年前から認知症が悪化し、施設に入居して全介助であるという。施設職員からよくむせることを主訴として歯科訪問診療を依頼された。食事はおかゆと刻んだおかずを食べているという。誤嚥性肺炎はこれまで発症していない。食後の義歯の写真(別冊午後 No.19)を別に示す。

最初に行う対応はどれか。

- a 禁食の指示
- b 義歯のリベース
- c 食物残渣の確認
- d RSST による嚥下評価

別冊 午後 No.19

選択肢考察

答え c



多量の食物残渣

- × a 認知症が悪化し、全介助であるが、禁食を指示することはない。
- × b 義歯の適合状態が悪いわけではないため、義歯のリベースを行う必要はない。
- c 義歯の写真から食物残渣がみられるため、食物残渣の確認を最初に行う必要がある。
- × d 義歯の写真から多量の食物残渣がみられるが、誤嚥性肺炎は発症していないため、RSST による嚥下評価を最初に行う必要はない。

(問題 87) 歯の喪失により、摂取しにくくなるのはどれか。2 つ選べ。

- a 肉
- b いも
- c めん類
- d 生野菜

選択肢考察

答え a d

- a、○ d 肉や生野菜は歯の喪失により摂食しにくくなる。
- × b いも類は舌で押しつぶせるため、歯が喪失しても摂食することができる。
- × c めん類は歯が喪失しても摂食することができる。

(問題 88) 非う蝕性甘味料はどれか。2 つ選べ。

- a ラクトース
- b フルクトース
- c スクラロース
- d アスパルテーム

選択肢考察

答え c d

- × a ラクトース(乳糖)は二糖類である。
- × b フルクトース(果糖)は単糖類である。
- c スクラロースは代用甘味料のため非う蝕性甘味料である。
- d アスパルテームは代用甘味料のため非う蝕性甘味料である。

(問題 89) 7 歳の女兒。小学校での保健指導で担任から相談を受けた。女兒は給食で口に食物を詰め込むことが多くなり、何度か窒息しそうになったという。全身疾患は特に無い。口腔内写真(別冊午後 No.20)を別に示す。

担任に対する適切な助言はどれか。2 つ選べ。

- a ペースト食に変更したほうが良いです。
- b 摂食嚥下の専門外来を受診すると良いです。
- c 歯科医院で子供用の入れ歯を作ると良いです。
- d 前歯が生えるまで食物を小さくして食べると良いです。

別冊 午後 No.20

選択肢考察

答え b d



上下顎前歯部の萌出交換

- × a 口に食物を詰め込むことが原因のため、ペースト食に変更しても効果はない。
- b 口に食物を詰め込むことが原因のため、摂食嚥下の専門外来を受診することが好ましい。
- × c 口腔内写真から上下顎前歯部の萌出交換中であり、歯科医院で子供用の入れ歯を作る必要はない。
- d 口に食物を詰め込み、何度か窒息しそうになっているため、前歯が生えるまで食物を小さくして食べることが好ましい。

(問題 90) 85 歳の女性。同居している家族から、「これまでは家族と同じように食べられましたが、最近はむせることが多くなってきました。献立で工夫できることはありませんか。」との相談を受けた。

適切な助言はどれか。2 つ選べ。

- a 野菜は細かく刻むと良いです。
- b ジュースよりゼリーの方がむせにくいです。
- c ひき肉を使った料理はとろみをつけると良いです。
- d クリームスープよりコンソメスープの方がむせにくいです。

選択肢考察

答え b c

- × a 細かく刻んだ食物は誤嚥しやすいため適切ではない。
- b ジュースのような水分は誤嚥しやすいため、比較するとゼリーのほうが誤嚥しにくい。
- c ひき肉のように細くなる食物は誤嚥しやすいが、とろみをつけると誤嚥しにくくなる。
- × d コンソメスープよりもクリームスープのほうがとろみがあるため誤嚥しにくい。

(問題 91) 82 歳の女性。義歯が時々はずれると家族より相談を受けた。5 年前にパーキンソン病を発症しパーキンソン病治療薬を服用している。歯科医師の診察の結果、オーラルジスキネジアが頻りにみられたが、義歯の適合は良好であった。

家族への指導で正しいのはどれか。2 つ選べ。

- a 服用薬剤はなるべく早めに休薬する。
- b 定期的に義歯の適合を診察してもらう。
- c 不随意運動が出たら口を閉じるようにする。
- d 口腔ケアを行う際は軟らかめの歯ブラシを使用する。

選択肢考察

答え b d

× a パーキンソン病治療薬を服用しており、オーラルジスキネジアが頻りにみられているが、義歯の適合は良好のため、服用薬剤を休薬する必要はない。

○ b 義歯の適合は良好であるが義歯が時々はずれているため、定期的に義歯の適合を診察してもらうよう家族に指導する。

× c オーラルジスキネジアが頻りにみられており、口を閉じても不随意運動は改善しない。

○ d 硬めの歯ブラシを使用すると口腔粘膜を傷つけてしまうため、口腔ケアを行うときは軟らかめの歯ブラシを使用するよう家族に指導する。

(問題 92) 6 か月の乳児。保育園で保護者を対象とした歯科保健指導で口腔清掃方法について質問を受けた。保護者は口腔清掃をまだ何もしていないという。全身疾患や口腔粘膜の異常はない。口腔内写真(別冊午後 No.21)を別に示す。

適切な助言はどれか。2 つ選べ。

- a 就寝前に歯ブラシで磨いてください。
- b 小さなおもちゃをしゃぶらせましょう。
- c ガーゼで汚れを拭う準備を始めましょう。
- d 指で口の中を触れることに慣れさせましょう。

別冊 午後 No.21

選択肢考察

答え c d



下顎乳中切歯が萌出途上

× a 下顎乳中切歯が萌出途上であり、歯ブラシで磨くと歯肉を傷つけてしまうため適切ではない。

× b 小さなおもちゃをしゃぶらせる必要はない。

○ c 下顎乳中切歯が萌出途上のため、ガーゼで汚れを拭う準備を始めさせる。

○ d まだ口腔清掃を行ったことがないため、まずは指で口腔内を触れることに慣れさせることが適切である。

(問題 93) 74 歳の男性。狭心症の既往歴がある。6 か月間は発作もなく安定した状態であるが、発作に備え常時薬剤を携帯している。スクーリング中に突然、胸痛を訴えた。

歯科衛生士が行う対応で正しいのはどれか。2 つ選べ。

- a 上体を起こす。
- b 血圧測定を行う。
- c 亜硝酸製剤貼付薬を出してもらう。
- d ニトログリセリン舌下錠を出してもらう。

選択肢考察

答え b d

× a 上体を起こすと起立性低血圧が生じることがある。座位か臥位でニトログリセリンを舌下投与する。

○ b モニタリングは必要なので、血圧測定を行うのは正しい対応である。

× c 亜硝酸製剤貼付薬はニトログリセリンを経皮吸収で徐々に血中に送り込むことにより、効果を持続させるために開発されたものなので、発作時の使用には適さない。1 日 1 枚を胸、腰、上腕部のいずれかに貼付することで、24 ~ 48 時間の効果を期待できる。

○ d 狭心症発作の特効薬として有名なものは、ニトログリセリン舌下錠である。発作時に 1 錠を舌下投与することで

即効性がある。舌下には血管が多く分布しているため、速やかに薬が血中に吸収されるからである。

(問題 94) ハインリッヒの法則を示す。□に入る組合せで正しいのはどれか。

1 件の重大な事故の背景には □① 件の軽微な事故と、さらに □② 件の傷害には至らなかった事故(インシデント)がある。

- |      |     |
|------|-----|
| ①    | ②   |
| a 19 | 200 |
| b 29 | 300 |
| c 39 | 400 |
| d 49 | 500 |

選択肢考察

答え b

× a、○ b、× c、× d

ハインリッヒは、「1 件の重大な事故の背景には 29 件の軽微な事故と、さらに 300 件の傷害には至らなかった事故(インシデント)がある。」と述べている。重大な医療事故が起こる前に、インシデントの段階で未然に防止することが医療安全において重要である。

(問題 95) セラミックインレーの着合に使用するデュアルキュア型レジンセメントの取扱いで正しいのはどれか。

- a 金属スパチュラで練和する。
- b セメントを窩洞に直接填入する。
- c 光照射を行う。
- d 余剰セメントは完全に硬化してから除去する。

選択肢考察

答え c

- × a プラスチックスパチュラで練和する。
- × b インレー体内面やクラウン内面にセメントを盛る。
- c デュアルキュア型なので光照射を行う。
- × d 余剰セメントは完全硬化前に除去しておく。

(問題 96) セラミックインレー修復で、削り出し法(ミリング法)を応用してインレー体を製作する方法はどれか。

- a 焼成法
- b CAD/CAM 法
- c 加圧法(押し込み法)
- d 鑄造法(キャストブルセラミックス)

選択肢考察

答え b

× a 焼成法とは耐火模型上で直接、築盛焼成する方法である。例えば、耐火模型上でアルミナ陶材を成型し、焼成後に歯冠色陶材を築盛焼成する。

○ b CAD/CAM 法はデジタル化された支台歯形態をもとに、修復物形態(インレー、クラウンなど)をコンピュータ上で設計(CAD)した後、ミリングマシンでの削り出し(CAM)を行う方法である。

× c 加圧法(押し込み法)はプレッシュャブルセラミックスともよばれる。鑄造ではなく加熱(900 ~ 1,180°C)により軟化したインゴッドを 20 分間、鑄型に加圧注入する方法である。

× d 鑄造法(キャストブルセラミックス)はワックスパターンを鑄型に埋没し、流注後、ガラスを電気炉で融解し、ガラス鑄造冠を製作する。鑄造後、加熱処理(セラミシング)を行い、ガラス中に結晶を析出させ、強度の向上を図る。

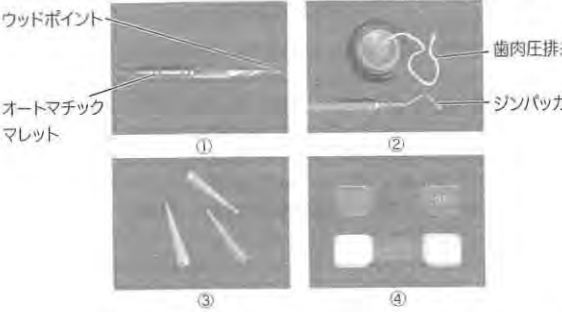
(問題 97) 歯科用ワックスの種類と用途の組合せで正しいのはどれか。  
 a シートワックス ————— 金属床の原型  
 b インレーワックス ————— スプルー  
 c パラフィンワックス ————— 義歯製作のための印象採得  
 d ユーティリティワックス — 咬合採得

選択肢考察 答え a  
 ○ a シートワックスの用途は義歯製作時のリリース、铸造床、連結装置の原型などである。  
 × b インレーワックスの用途は铸造修復物（インレー、クラウンなど）の原型である。  
 × c パラフィンワックスの用途は、義歯床の仮床、咬合堤、咬合採得、蠟義歯などである。  
 × d ユーティリティワックスの用途はトレーの修正、仮着などである。

(問題 98) 器材の写真（別冊午後 No.22）を別に示す。メタルインレー体を MO 窩洞に試適する際に準備するのはどれか。  
 a ① b ② c ③ d ④

別冊 午後 No.22

選択肢考察 答え d



× a ①はウッドポイント装着したオートマチックマレットである。金箔充填用自動槌打器のことである。  
 × b ②はジンバックカーと歯肉圧排糸である。印象採得時に準備するものである。  
 × c ③はウェッジである。2級や3級窩洞などの隣接面窩洞に対してコンポジットレジン充填する際に準備する。  
 ○ d ④はコンタクトゲージである。2級インレー（MO、DO、MOD 窩洞など）やクラウンの試適時に準備するものである。

(問題 99) オフィスブリーチ法で正しいのはどれか。  
 a カスタムトレーを作製する。  
 b 照射器を用いて漂白剤を活性化させる。  
 c 漂白剤は 10～20%の過酸化尿素が主成分である。  
 d 漂白前の歯面研磨はフッ化物配合研磨材を使用する。

選択肢考察 答え b  
 × a カスタムトレーを作製するのはホームブリーチ法である。  
 ○ b オフィスブリーチ法では、照射器を用いて漂白剤を活性化させる。  
 × c 漂白剤は 30～35%過酸化水素水が主成分である。  
 × d 漂白前の歯面研磨にはフッ化物配合研磨材の使用を避ける。

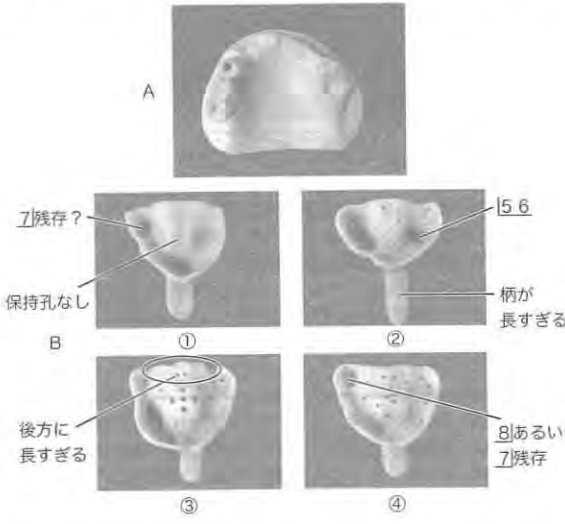
(問題 100) 27歳の女性。妊娠8か月である。下顎左側臼歯部の咬合痛を主訴として来院した。プロービングを行うために水平位にしたところ、悪心を訴え、冷汗、血圧低下がみられた。正しい対応はどれか。  
 a 頭部を下肢より低くする。  
 b 下肢を腹部より高くする。  
 c 仰臥位のまま安静を保つ。  
 d 左を下にした側臥位にする。

選択肢考察 答え d  
 × a、× b、× c、○ d  
 妊娠8か月（後期）になると、仰臥位で悪心、冷汗、血圧低下、嘔吐、顔面蒼白、呼吸困難がみられることがある。これを仰臥位低血圧症候群といい、増大した妊娠子宮が下大静脈を圧迫し、静脈還流血流量が減少するためである。左を下にした側臥位にすると回復する。

(問題 101) 80歳の女性。部分床義歯の印象採得のため個人トレーを作製した。模型の写真（別冊午後 No.23A）と個人トレーの写真（別冊午後 No.23B）を別に示す。模型に適合するのはどれか。  
 a ① b ② c ③ d ④

別冊 午後 No.23A、B

選択肢考察 答え b

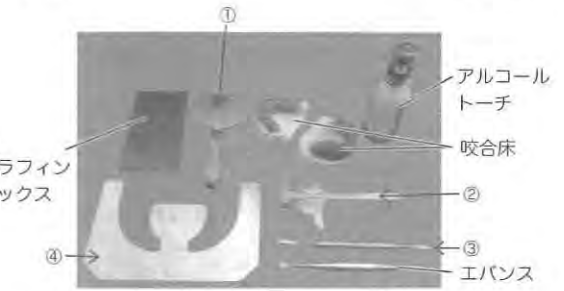


× a ①は 7] 残存、6 5] 欠損している模型に適合する。この個人トレーは他の選択肢と異なり印象材の保持孔が付与されていない。  
 △ b ②は写真 A の模型に適合するのかもしれないが、個人トレーの柄が長すぎる。また、個人トレーでは 5 6 付近に歯冠のある歯が残存しているように見えるが、写真 A の模型では 5 6 の歯冠が崩壊しているように見える。正解にするには違和感がある選択肢である。  
 × c ③は写真 A の歯列弓（顎堤）の形態と一致しない。さらに後方に長い個人トレーとなっている。  
 × d ④は 8] あるいは 7] 残存、その前方の歯が欠損している模型に適合する。

(問題 102) 咬合採得時に必要な器材の写真（別冊午後 No.24）を別に示す。下顎安静位を利用して咬合高径の決定を行う際に使用する器具はどれか。  
 a ① b ② c ③ d ④

別冊 午後 No.24

選択肢考察 答え b

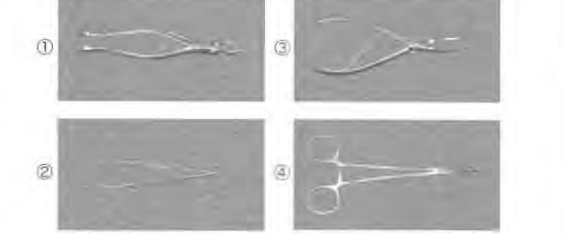


× a ①は蠟堤形成板（咬合床形成用ヘラ）である。咬合床を製作する際に使用する。  
 ○ b ②はデンタルノギスである。下顎安静位を利用して咬合高径を決定する際に使用する。  
 × c ③はワックススパチュラである。咬合床を製作する際に使用する。  
 × d ④は咬合平板（咬合平面測定板）である。仮想咬合平面を決定する際に使用する。

(問題 103) 器具の写真（別冊午後 No.25）を別に示す。腐骨除去の際に用いるのはどれか。  
 a ① b ② c ③ d ④

別冊 午後 No.25

選択肢考察 答え c



× a ①は抜歯鉗子である。文字どおり抜歯の際に用いる。  
 × b ②は持針器である。縫合の際に用いる。  
 ○ c ③は破骨鉗子である。腐骨除去や骨削除の際に用いる。  
 × d ④は止血鉗子である。抜歯の際に準備する。

(問題 104) アーチワイヤーをブラケットのスロットに着脱するのに用いるのはどれか。  
 a モスキートフォーセップス  
 b リガチャーインスツルメント  
 c ユーティリティブライヤー  
 d リガチャータイピングブライヤー

選択肢考察 答え c  
 × a モスキートフォーセップス（モスキートフォーセプス）

は止血鉗子を改良したもので、モジュール、リガチャーリングによる結紮に用いる。先端が小さいので結紮用エラストックの一部分だけを掴むことができる。  
 × b リガチャーインスツルメント（ツイスター&ディレクター）はブラケットとアーチワイヤーの結紮や結紮線の断端処理に用いる。  
 ○ c ユーティリティブライヤーはアーチワイヤーの適合・着脱やシンチバック（＝ワイヤーが前にずれてこないように遠心端を屈曲すること）に用いる。  
 × d リガチャータイピングブライヤーはリガチャーワイヤーでエッジワイズブラケットとアーチワイヤーを結紮するのに用いる。

(問題 105) 8歳の男児。下顎右側第一大臼歯が歯髄壊死となり、根管治療を行った。本日、根管充填を行う予定である。準備するのはどれか。  
 a EBAセメント  
 b ホルムクレゾール  
 c 水酸化カルシウム製剤  
 d ガッターチャポイント

選択肢考察 答え c  
 × a EBAセメントは逆根管充填の際に使用する。  
 × b ホルムクレゾール（FC）は根管粘着の際に使用する根管治療薬の1つである。  
 ○ c 8歳児の下顎第一大臼歯は歯根が完成していない。歯髄壊死（無髄歯）となり、根管治療を行ったことからアペキシフィケーションを行ったと考えられる。水酸化カルシウム製剤を根管充填することで根尖の閉鎖が生じる。  
 × d ガッターチャポイントは歯根が完成した永久歯の根管充填の際に使用する。

(問題 106) 高齢者の認知機能を評価するのはどれか。  
 a SGA  
 b BDR  
 c MMSE  
 d IADL

選択肢考察 答え c  
 × a SGA（Subjective Global Assessment）は主観的包括的評価で、栄養スクリーニングとして使用される。病歴と身体検査の結果から栄養評価を行う。  
 × b BDR 指標は口腔清掃の自立度判定基準である。BはBrusing（歯磨き）、DはDenture wearing（義歯着脱）、RはMouth rinsing（うがい）を意味する。  
 ○ c MMSE（Mini Mental Examination）は1975年に開発された世界中で使用されている認知機能の質問式評価スケールである。11項目の設問がある。  
 × d IADL（Instrumental Activities of Daily Living）は手段的日常生活動作の指標である。買物、食事の支度、洗濯、電話の使用、服薬、家計管理、家屋維持、外出時の移動の8項目がある。

(問題 107) 82歳の男性。5年前に脳梗塞を起こし麻痺があるため、車椅子を利用している。診療室内移動時の写真(別冊午後 No.26)を別に示す。義歯作製のための口腔内診査を行うことになった。

デンタルチェアに移乗する際の介助で正しいのはどれか。

- a デンタルチェアを水平にしておく。
- b 患者の右側にデンタルチェアがくるように車椅子を寄せる。
- c 両手を持って立ち上がらせる。
- d 患者の左足を軸にしてデンタルチェアへの移乗を行う。

別冊 午後 No.26

選択肢考察

答え d



- × a デンタルチェアは座位にしておく。
- × b 患者の左側にデンタルチェアがくるように車椅子を寄せる。
- × c 介助者の両腕を患者の脇に入れて立ち上がらせる。
- d 患者の左足を軸にしてデンタルチェアへの移乗を行う。

(問題 108) 金属アレルギーのパッチテストを受ける患者への注意事項で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a パッチは毎日交換する。
- b 運動を控えるようにする。
- c 清潔に保つために毎日入浴する。
- d 痒みがひどくなったら検査を中止する。

選択肢考察

答え b d

- × a パッチは交換しない。検査後、48時間、72時間および1週間目に判定を行う。
- b パッチを貼っているため、汗をかくような運動を控えるように指導する。
- × c 検査当日と翌日は入浴禁止である。テスト部が濡れないよう、蒸れないように工夫してシャワーを浴びることは可能である。
- d 痒くてもパッチをはずさないように指導するが、痒みがひどくなったら検査を中止する。

(問題 109) SpO<sub>2</sub>が90%以下になった場合、考えられるのはどれか。

- a 頻脈
- b 高血圧
- c 過呼吸
- d 低酸素

選択肢考察

答え d

- × a、× b、× c、○ d

SpO<sub>2</sub>は動脈血中に存在しているヘモグロビン(Hb)が酸素(O<sub>2</sub>)とどれくらい割合(%)で結合しているかを表したものである。SpO<sub>2</sub>は96%以上だと正常で、90%以下になると、血液中の酸素濃度が低下していること(=低酸素)を意味する。

(問題 110) 幼児に対する胸骨圧迫で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 1分間に70回圧迫する。
- b 呼吸の確認は20秒間行う。
- c 片手で圧迫する場合がある。
- d 胸の厚さの1/3まで圧迫する。

選択肢考察

答え c d

- × a 1分間に100回圧迫する。
- × b 呼吸の確認は10秒間行う。
- c 6歳以下の場合、片手で圧迫する場合がある。
- d 胸の厚さの1/3まで圧迫する。成人の場合は5~6cm沈む程度圧迫する。